

# iFシリーズ

## 短縮設定／着信履歴プログラム( i F ) Ver.6.1.0.X

### ■ 取扱説明書 ■

#### 利用規約

本規約に同意いただいた場合のみダウンロード及び使用していただくことができます。

#### 1. 著作権

短縮設定／着信履歴プログラム(iF)[以下本プログラムという]の著作権は株式会社日立情報通信エンジニアリング及び株式会社ナカヨが所有します。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

#### 2. 使用範囲

本プログラムの使用は電話帳データ設定、着信履歴の読み込みに限る。

#### 3. 複製の制限

使用にあたっての登録会社内にて、当社の製品の設置やメンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

#### 4. 制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを送信してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、あるいは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

#### 5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての登録会社はプログラムが記録あるいは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体にかかわらず、当社が保持する。

#### 6. 機密保持

使用にあたっての登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意無しに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。更に、登録していない人物の本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

#### 7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報(お客様の電話帳データ等)は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏えい、改ざんなどの危険にさらされない様に取扱権限者の明確化などの組織的な対応、更に悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

##### 【個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容】

- ①使用目的:本プログラムを使用することにより、工事／保守時間の短縮を図ることを目的とする。
- ②お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。
- ③お客様の短縮ダイヤル情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

#### 8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、あるいはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

#### 9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出(海外提供)される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など、外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ること。

## —— 目次 ——

### ■第1部《概要編》

1. はじめに(必ずお読みください)	1-1
1-1 本プログラムの概要	1-1
1-2 パソコン側の条件	1-2
1-3 接続方法	1-2
1-4 新規インストール	1-4
1-5 バージョンアップ	1-4
1-6 アンインストール	1-5
1-7 プログラムの起動	1-6
1-8 現在使用している主装置の電話帳データ(短縮データ)を変更するときの注意事項	1-7
1-9 Q&A集	1-7

### ■第2部《電話帳データ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ	2-1
2. 電話帳データの読み込み	2-2
3. 電話帳データの編集	2-4
●Excel®を使用して電話帳データを作成、編集する	2-9
4. 電話帳データの書き込み～プログラムの終了	2-14

### ■第3部《内線／外線着信履歴編》

1. 本プログラムの操作の流れ	3-1
2. 着信履歴の読み込み	3-2
3. 着信履歴の表示とファイル操作	3-4
4. 保存した着信履歴の確認～プログラムの終了	3-7
●Excel®を使用して着信履歴を確認する	3-9

### ■第4部《発信規制番号データ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ	4-1
2. 発信規制番号データの読み込み	4-2
3. 発信規制番号データの編集	4-4
●Excel®を使用して発信規制番号データを作成、編集する	4-7
4. 発信規制番号データの書き込み～プログラムの終了	4-9

※本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。また、内容的に違いがない場合は、Windows® 7の画面で記載しています。

●Windows Vista®はMicrosoft® Windows Vista® operating systemの略です。

●Windows® 7はMicrosoft® Windows® 7 operating systemの略です。

●Windows® 8.1はMicrosoft® Windows® 8.1 operating systemの略です。

●Windows® 10はMicrosoft® Windows® 10 operating systemの略です。

●Microsoft, Windows, Windows Vista, Excel, Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

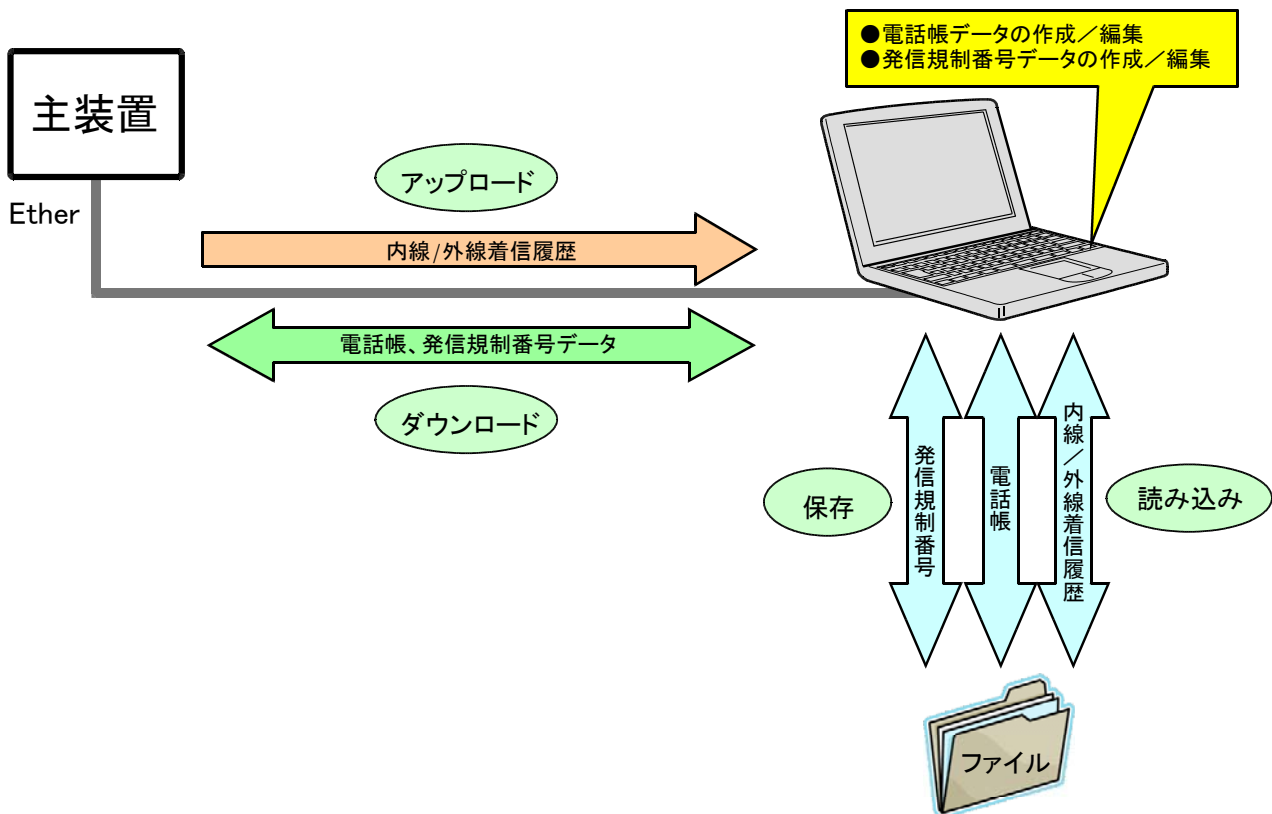
## 1. はじめに(必ずお読みください)

### 1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

- 主装置の電話帳データ(短縮データ)、発信規制番号データをパソコンにアップロードする  
電話帳(内線電話帳、付加情報定型文も含む)データと発信規制番号データは別々にアップロードします。  
新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に行ってください。
- パソコン上で電話帳データ、発信規制番号データを作成/変更する\*  
作成内容をファイルに保存したり、ファイルからの読み込みも可能です。
- パソコン上の電話帳データ(短縮データ)、発信規制番号データを主装置にダウンロードする  
電話帳(内線電話帳、付加情報定型文も含む)データと発信規制番号データは別々にダウンロードします。
- 着信履歴の読込…主装置の着信履歴をパソコンにアップロードする  
ファイルへの保存やファイルからの読み込みも可能です。

\*: 主装置に接続しないで、各種データの作成、ファイルへの保存、ファイルからの読み込みができます。  
(事前にデータファイルを作成しておけます)

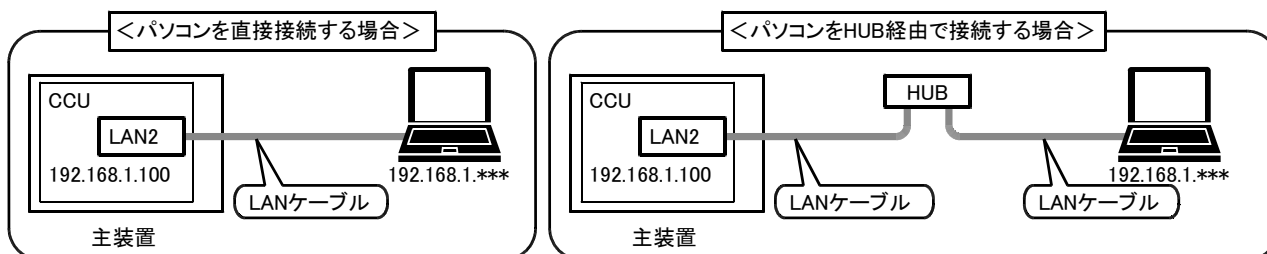


## 1-2 パソコン側の条件

- (1) パソコン: DOS/V(PC-AT互換機)
- (2) OS: Windows Vista® Ultimate 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows Vista® Business 日本語版(32bit版のみ対応)  
Windows Vista® Home Premium 日本語版(32bit版のみ対応)  
Windows Vista® Home Basic 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows Vista® Enterprise 日本語版(32bit版のみ対応)  
Windows® 7 Home Premium 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 7 Professional 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 7 Enterprise 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 7 Ultimate 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 8.1 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 8.1 Pro 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 8.1 Enterprise 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 10 Home 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 10 Pro 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 10 Enterprise 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 10 Education 日本語版(32/64bit版対応)
- (3) CPU: クロック1.7GHz以上のx86、もしくは64bit(x64)アーキテクチャのプロセッサ
- (4) 必要メモリ容量: 512MB以上(Windows Vista®)  
1GB以上(Windows Vista® 以外の32bit版OS)  
2GB以上(Windows Vista® 以外の64bit版OS)
- (5) ハードディスク容量: 100MB以上(セットアップ時)
- (6) 画面サイズ: 1024×768ピクセル以上
- (7) ネットワーク: 100BASE-TX、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPが動作するもの

## 1-3 接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。



### ご注意

- 本プログラムは、Windowsのアカウントユーザーの種類を「管理者」に設定したパソコンでのみインストールおよび使用することができます。
- 主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、必要に応じてIPアドレスを変更してください。変更後は主装置の電源をOFF/ONしてください。  
⇒詳しくは、主装置の「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」のコマンド \* 9400をご覧ください。
- ブラウザ:「Internet Explorer® 11」以上(ただし、Windows Vista® はInternet Explorer® 9)
- パソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。  
例:主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.\*\*\*」を設定します(第3オクテットまで同一にする)。
- 「Internet Explorer®」は下記の設定を行ってください。なお、「Internet Explorer」のバージョンによって設定項目等の表示内容、ボタン名、画面表示等が異なる場合があります(以降の説明も同様)。
  - ① [ツール(T)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする
  - ② 『インターネット オプション 画面』の[全般]タブにある「閲覧の履歴」の  をクリックする
  - ③ 『Webサイトデータの設定 画面』の[インターネット一時ファイル]タブにある「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認:」の下に「Webサイトを表示するたびに確認する(E)」を選択し、 をクリックする
  - ④ 『インターネット オプション 画面』の[接続]タブにある  をクリックする
  - ⑤ 『ローカル エリア ネットワーク(LAN)の設定 画面』の「プロキシ サーバー」の下に「ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)」をチェックし、 をクリックする  
または、「LANにプロキシ サーバーを使用する」のチェックをはずして、 をクリックする(通常はプロキシサーバーを使用しているLANに接続しないパソコンの場合)
  - ⑥ 『インターネット オプション』画面の  をクリックする
  - ⑦ [表示(V)]メニューから[拡大(Z)]を選択し、「100%(O)」に設定する

## ご注意

- パソコンの「ファイアウォール」の設定は行わないでください。正常にアップロード、ダウンロードできなくなります。

### ■Windows Vista® の場合

- ①[コントロール パネル]から[ネットワークとインターネット]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(コントロールパネル ホーム表示の場合)  
[コントロール パネル]から[セキュリティ センター]をクリックし、『セキュリティ センター 画面』の[Windows ファイアウォール]をクリックする(クラシック表示の場合)
- ②『Windows ファイアウォール 画面』の[設定の変更]をクリックし、[詳細設定]タブをクリックする
- ③『ネットワーク接続の設定』で、[ローカルエリア接続]のチェックを外し、 をクリックする

### ■Windows® 7/Windows® 8.1/Windows® 10の場合

- ①[コントロール パネル]から[システムとセキュリティ]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)  
[コントロール パネル]から[Windows ファイアウォール]をクリックする(大きいアイコンまたは小さいアイコン表示の場合)

[コントロールパネル]の表示方法(Windows® 8.1/Windows® 10)  
1. [スタートボタン]を右クリックする  
2. 一覧が表示されるので、[コントロールパネル]を選択する

- ②『Windows ファイアウォール 画面』の[詳細設定]をクリックする
- ③『セキュリティが強化された Windows ファイアウォール 画面』の[プロパティ]をクリックし、[パブリック プロファイル]タブをクリックする  
(使用するネットワークの場所が「ホームネットワークまたは社内(プライベート)ネットワーク」の場合は[プライベート プロファイル]タブをクリックする)
- ④「保護されているネットワーク接続」の横にある  をクリックし、主装置につないでいる接続のチェックを外し、 をクリックする

- 本プログラムを使用するときは、ほかのアプリケーションプログラムを終了してください。パソコンのシステムリソースが不足して詳細設定画面(Web画面)が開けなくなる場合があります。「メモリー不足のため、サーバが起動しませんでした。」というエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。

- Internet Explorer® で、電話帳データの「詳細設定」又は「内線着信履歴表示」の各画面を表示した際、前の画面が表示されることがあります。その場合には、下記手順で設定を変更してください。

- ①[ツール(O)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする
- ②[閲覧の履歴]の「終了時に閲覧の履歴を削除する(W)」にチェックをいれる
- ③『インターネット オプション』画面の  をクリックする

## 1-4 新規インストール

本プログラムをはじめてインストールする手順は下記のとおりです。

- ①ダウンロードしたファイルを実行します。
- ②これ以降は、画面の指示に従ってください。

### ●標準インストール先

「C:\¥Program Files¥iF\_SPD1」フォルダ

### ●プログラム名

「SPDIFXXXX.exe」

※プログラム名の「XXXX」はバージョンを示します。

※プログラムをインストールすると、デスクトップにショートカットが作成されます。

### ●プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラなどで、上記インストール先のフォルダにあるプログラムファイル(SPDPA-IF.exe)を右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。

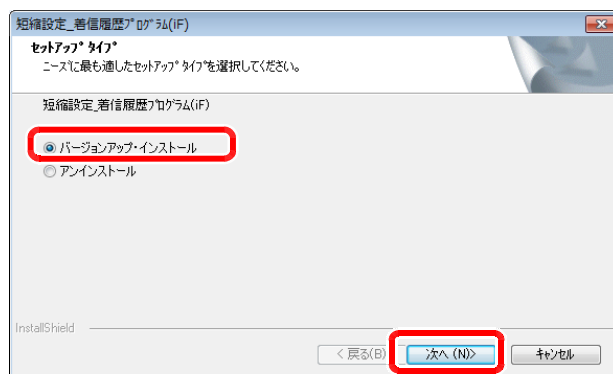
※プログラム起動後の『メイン画面』でもバージョンが確認できます。

★パソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。ほかのユーザーでログインしてインストールすると、プログラムが正常に動作しません。

## 1-5 バージョンアップ

本プログラムを最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

- ①ダウンロードしたファイルを実行します。
  - ②しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。  
「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>**をクリックしてください。
  - ③これ以降は、画面の指示に従ってください。
- ※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



### ご注意

★本プログラムをインストールする際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **続行** (または **はい(Y)**) をクリックしてください。

## 1-6 アンインストール

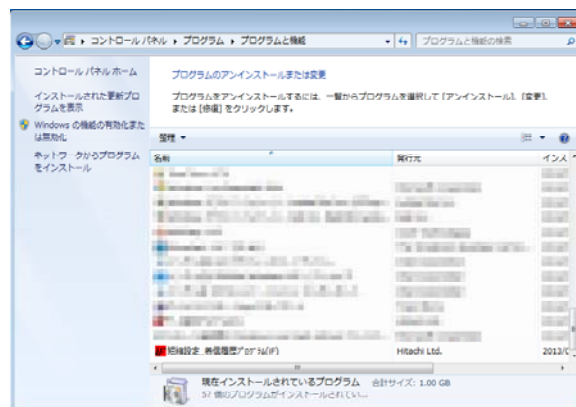
本プログラムをパソコンから削除する手順は下記のとおりです。

- ①[コントロールパネル]から、[プログラムと機能]または[プログラムのアンインストール]を選択します。

[コントロールパネル]の表示方法(Windows® 8.1/Windows® 10)

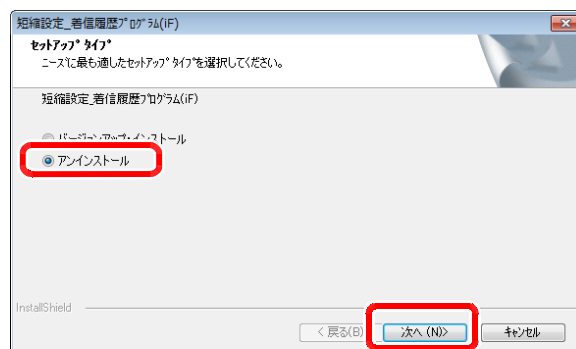
1. [スタートボタン]を右クリックする
2. 一覧が表示されるので、[コントロールパネル]を選択する

- ②本プログラムを選択し、ダブルクリックします。



- ③しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。  
「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

- ④以降、画面の指示に従ってください。



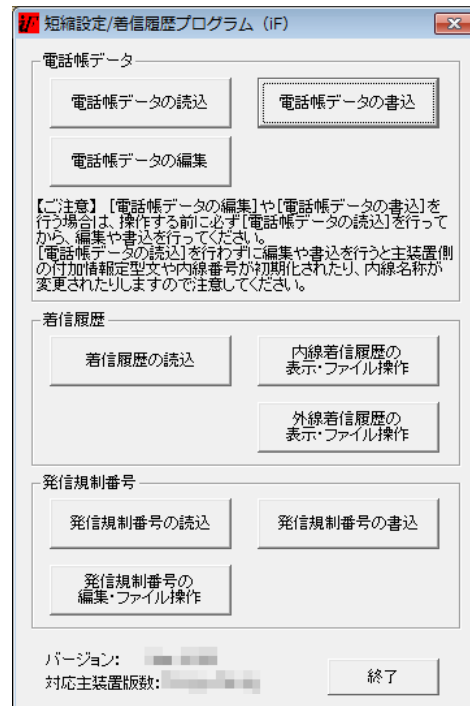
### ご注意

★本プログラムをアンインストールする際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **続行** (または **はい(Y)**) をクリックしてください。

★Windows Vista® をご使用の場合、アンインストール後にショートカットアイコンが残ってしまう場合があります。画面の更新または、再起動を行うと消去されます。

## 1-7 プログラムの起動

デスクトップ上にある、本プログラムのアイコンをダブルクリックしてください。  
プログラムが起動すると『メイン画面』が表示されます。



### ●各ボタンの説明

**電話帳データの読込** …主装置内の電話帳データを読み込みます。(アップロード)

**電話帳データの編集** …電話帳データの作成／変更、ファイル読み込み、ファイルの保存を行います。

**電話帳データの書込** …パソコンで作成／変更した電話帳データを主装置に書き込みます。(ダウンロード)

**着信履歴の読込** ……主装置内の着信履歴データを読み込みます。(アップロード)

**内線着信履歴の表示・ファイル操作** …読み込んだ内線着信履歴データの表示やファイルへの保存を行います。

**外線着信履歴の表示・ファイル操作** …読み込んだ外線着信履歴データの表示やファイルへの保存を行います。

**発信規制番号の読込** …主装置内の発信規制番号データを読み込みます。(アップロード)

**発信規制番号の編集・ファイル操作** …発信規制番号データの作成／変更、ファイル読み込み、ファイルの保存を行います。

**発信規制番号の書込** …パソコンで作成／変更した発信規制番号データを主装置に書き込みます。(ダウンロード)

**終了** ……………プログラムを終了します。



## 1-8 現在使用している主装置の電話帳データ(短縮データ)を変更するときの注意事項

現在使用している主装置の電話帳データや発信規制番号データを変更するときは、下記に注意してください。

### ご注意

★本プログラムで電話帳、発信規制番号データを主装置にダウンロードすると、主装置内のデータはダウンロードしたデータに置き換わります。

お客様が変更、追加を行っている可能性がありますので、電話帳、発信規制番号データを設定済みの主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。

①「電話帳データの読込」または「発信規制番号の読込」を行う。

②本プログラムを終了しないで、読み込んだデータを変更する。必要に応じてファイルの保存を行ってください。

★ファイルの読み込みは行わないでください。

③「電話帳データの書込」または「発信規制番号の書込」を行う。

## 1-9 Q&A集

No.	質 問	回 答
1	アップロードまたは、ダウンロードを行うと、「コネクト失敗」のメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● * 9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか？（「ポートオープン」にする必要があります。）</li> <li>※ * 9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。</li> <li>● パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか？（同一セグメントにしてください）</li> <li>● パソコンセキュリティソフト（例：ウイルスバスターなど）が常駐していませんか？（セキュリティソフトを停止して実行してください）</li> <li>● パソコンの「ファイアウォール」が有効になっていませんか？（無効にしてください）</li> </ul>
2	「電話帳データの読込」を選択すると「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出てアップロードできない。 また、「電話帳データの編集」→「詳細設定」を選択すると、「メモリ不足のため、サーバが起動できません」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。</li> </ul>
3	主装置に電話帳データの書き込みができない。 ダウンロード中画面が表示された後、0%の状態で「コネクト失敗」メッセージが出る。これを何回か繰り返すと、登録OKになる場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのLANドライバが古くありませんか？（最新のドライバに更新して、再度実施してください）</li> </ul>
4	Internet Explorer®の電話帳入力画面にある“登録”ボタンを押した後に、入力データが画面に反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Internet Explorer®の「インターネットオプション」の「閲覧の履歴」→「設定」→「インターネット一時ファイル」の設定が「Webサイトを表示するたびに確認する」になっていませんか？（設定を変更してください）</li> </ul>
5	主装置に電話帳データの書き込みを行ったら、電話機の内線番号が消えてしまった。 または、内線番号や内線名称が変更されてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話帳データの書き込みを行う前に、「電話帳データの読込」を実施しましたか？実施していない場合、「内線電話帳を書込する」のチェックボックスにチェックを入れ書き込みすると、内線電話帳が初期値で書き込まれてしまい、内線番号や内線名称が消えたり、変更されてしまいます。 電話帳データの書き込みを行う際には、必ず「電話帳データの読込」を実施してから、書き込みを行ってください。 また、内線電話帳の書き込みが不要な場合は、「内線電話帳を書込する」のチェックボックスにチェックを入れないでください。</li> </ul>
6	CSV形式で保存したファイルをExcel®で開いたら、電話番号の頭に「0」が付いていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSV形式のファイルをExcel®で読み込んだ場合、電話番号欄の頭の「0」は削除されます。この状態で保存してしまうと「0」は削除されたままとなります。ファイルを上書き保存しないように注意してください。 CSV形式のファイルの読み込み方法は、P2-12またはP4-8をご覧ください。</li> </ul>

### 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。(参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。)

#### [1] 事前に電話帳データを作成する場合

- ①プログラムの起動 ⇒P1-6
- ②PCでの設定、ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
  - 付加情報定型文ファイル

**【注】**内線番号が変更されている場合は、「4」を実行して内線電話帳データを読み出し、それを編集してください。

お客様が本プログラムをご使用の場合で内線番号が変更されているかどうか、分からないときは、特約店、販売店にお問い合わせください。

#### [2] 新規に電話帳データを設定する場合 (事前作成ファイルなし)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③PCで編集、ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
  - 付加情報定型文ファイル
- ④「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-14

**【注】**内線番号が変更されている場合は、「4」を実行して内線電話帳データを読み出し、それを編集してください。

お客様が本プログラムをご使用の場合で内線番号が変更されているかどうか、分からないときは、特約店、販売店にお問い合わせください。

#### [3] 新規に電話帳データを設定する場合 (事前作成ファイルあり)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③ファイルの読み込み ⇒P2-4
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
  - 付加情報定型文ファイル
- ④「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-14

※読み込んだ内容を変更するときは、③の後で実施し、ファイルに保存してください。

#### [4] 主装置の電話帳データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③「電話帳データの読込」を実行 ⇒P2-2
- ④ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
  - 付加情報定型文ファイル

#### [5] 主装置の電話帳データを変更する場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③「電話帳データの読込」を実行 ⇒P2-2
 

★必ず実行してください。
- ④PCでの変更\*1、ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
  - 付加情報定型文ファイル
- ⑤「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-14

\*1: 主装置から読み込んだ電話帳データを変更します。

## 2. 電話帳データの読み込み

主装置側の電話帳データをパソコンに読み込みます。

※電話帳、内線電話帳、付加情報定型文をまとめて読み込みます。

●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

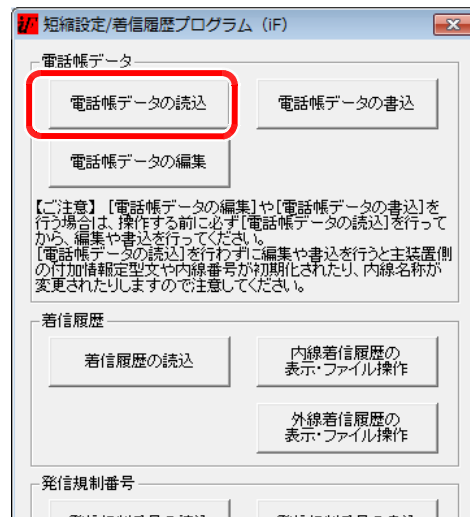
(1) 主装置とパソコンは接続されているか？

(2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（\*9403）

(3) 主装置のIPアドレス（\*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

※\*9400、\*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

1 『メイン画面』で **電話帳データの読込** をクリックする。



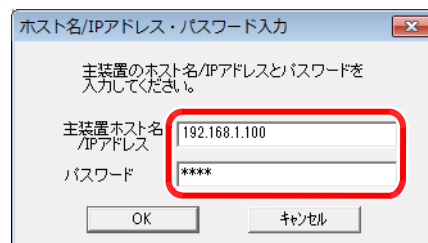
2 『ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面』となる。  
接続されている主装置のIPアドレス、パスワードを入力して **OK** を  
クリックする。

IPアドレスは、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

パスワードはWeb設定（\*W013）で設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192. 168. 1. 100、パスワードの初期値は0000です。

※パスワードは半角数字を使用します。



## 3

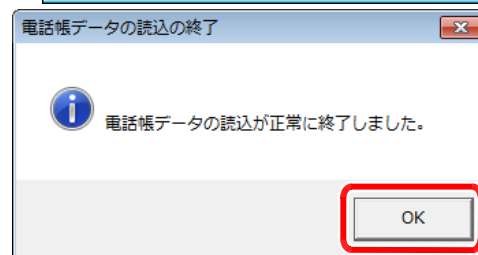
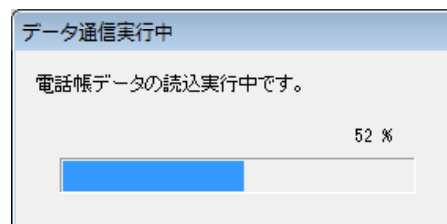
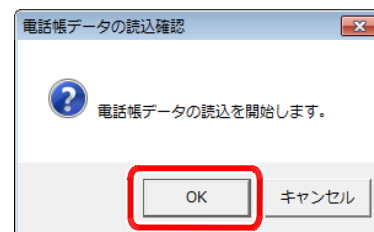
『電話帳データの読込確認画面』となるので、**OK** をクリックする。

★中断できないので注意してください。

※ **キャンセル** をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

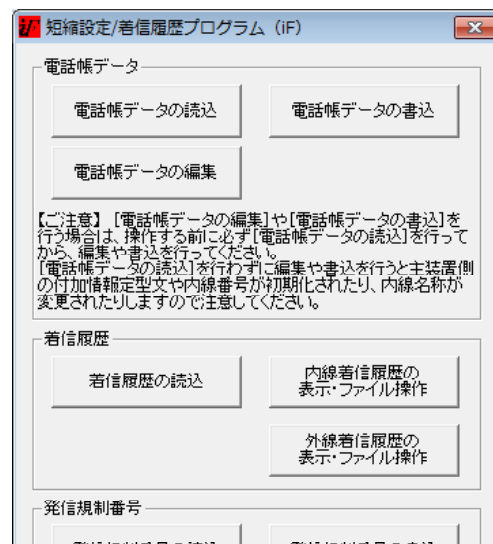
※読み込みを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに進行状況が表示されます。

読み込みが完了すると『電話帳データの読込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。



## 4

『メイン画面』に戻る。



### ご注意

★データの読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込みしたデータを主装置に書き込むと、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★データの読み込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、読み込みをやり直してください。また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

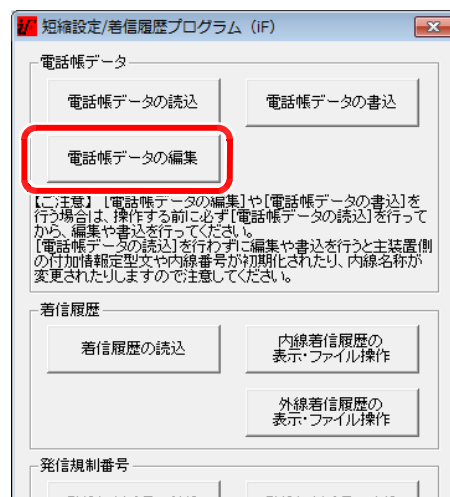
エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

### 3. 電話帳データの編集

パソコンで電話帳データを編集したり、ファイルに保存したりします。

1 『メイン画面』で **電話帳データの編集** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

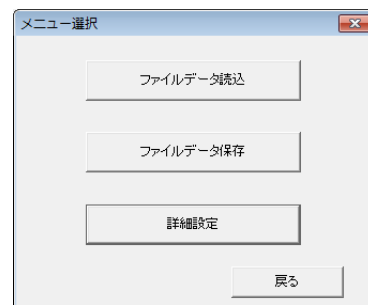
#### ●各ボタンの説明

**ファイルデータ読込** … 事前設定またはバックアップしたファイルを読み込みます。

**ファイルデータ保存** … パソコン上にある電話帳データをファイルに保存します。  
⇒P2-7

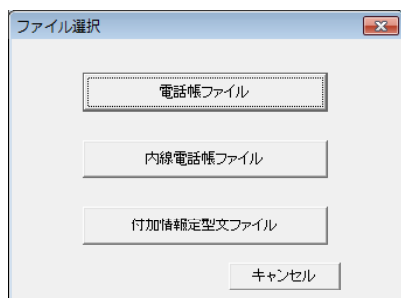
**詳細設定** … パソコン上で電話帳データの作成や変更を行います。

**戻る** … 『メイン画面』に戻ります。

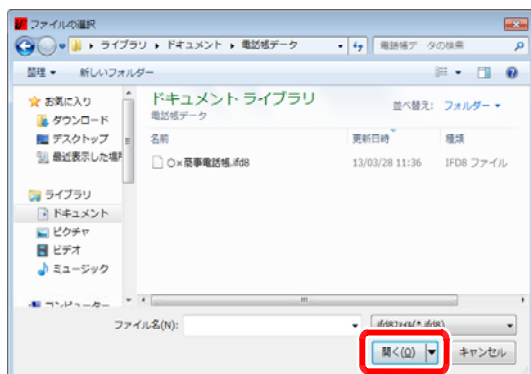


- 作成済みの電話帳データファイルを修正するときは、下記の手順で「ファイルデータ読込」を行ってください。  
★主装置から読み込んだ電話帳データを変更する場合は、この手順は実行しないでください。

- ①『メニュー選択画面』で **ファイルデータ読込** をクリックする。
- ②『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択する。

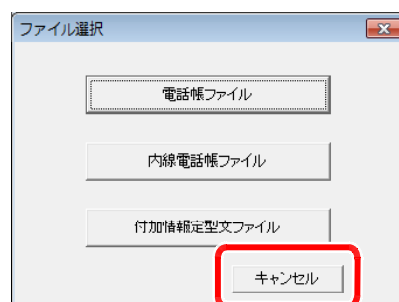


- ③読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックする。



- ④『ファイル選択画面』に戻る。

**キャンセル** をクリックすると、『メニュー選択画面』に戻ります。



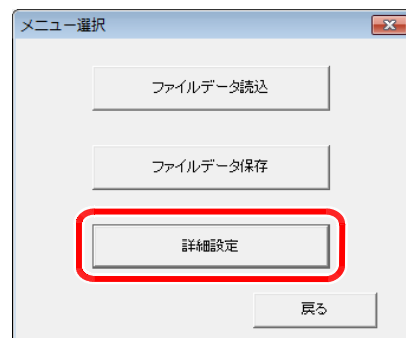
※～4-1版の主装置で使うときには、電話帳ファイルの拡張子は「ifd3」を選択してください。

プルダウンメニューで「ifd3ファイル(\*.ifd3)」を選び、ファイルを選択してください。

※CSVファイルの読み込みも可能です。プルダウンメニューで「csvファイル(\*.csv)」を選び、ファイルを選択してください。

CSVファイルに関しては、P2-9をご覧ください。

『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックする。



ブラウザが起動し、設定用のWeb画面が表示されるので、「電話帳」の設定を行う。

画面左側のフレームで編集する短縮番号のページ(PAGE)を選択し、各項目を入力(変更)する。

表示しているページの入力(変更)が終わったら、画面一番下の **登録** をクリックする。

●現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。

●下記のサンプル画面は説明用です。実際の表示内容とは異なる場合があります。

■各項目には次の内容を入力してください。

●**電話番号**: 電話番号を入力します。半角数字または記号(\*、#、P、M、-)24文字まで

★複数の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合、**登録** をクリックすると「短縮番号〇〇〇〇番と△△△番が重複して登録されています。」というエラー画面が表示されますが、エラー画面の **OK** をクリックすると、重複していてもそれらは短縮番号に登録されます。電話番号を重複して登録する必要がない場合は、どちらかの短縮番号を削除し再登録してください。

●用途欄が同一のデータのみ電話番号の重複チェックを行います。

●**名前**: 相手名称を入力します。全角10文字(半角20文字)まで

●**ヨミガナ**: ヨミガナを入力します。半角20文字まで

●**用途**: グループ電話帳の場合は共通電話帳管理番号「1～7」を、システム電話帳の場合は「8」を、マイ電話帳の場合は電話機の収容位置(3桁)を半角数字で入力します。

正しい値を入力しないと、**登録** をクリックしても入力した内容は登録されません。

●**短縮G**: 短縮グループ番号(グループ電話帳:01～15、システム電話帳:16～30)を選択します。(プルダウン表示される候補を選択します)

●**外線G**: 0(指定なし)もしくは外線グループ番号1～6を選択します。(プルダウン表示される候補を選択します)

●**表示モード**: 付加情報の表示内容を選択します。(プルダウン表示される候補を選択します)

付加情報なし: 何も表示しません。

電話帳詳細: 電話帳の詳細情報を表示します。

前着信履歴: 前回、着信したときの日時を表示します。 ユーザ定型文: ユーザが設定した定型文を表示します。

●**定型文1, 2**: 表示モードを「ユーザ定型文」にしたときに、表示される定型文の番号を指定します。

※[Tab]キーで各入力項目を移動できます。

短縮番号50個ごとに、ページが分かれています。

●編集する短縮番号範囲をクリックすると、該当の入力画面となります。

●現在表示しているページは色を変えて表示します。

※注意※

- ・電話番号: 最大5桁の半角数字と半角文字(\*、#、P、M、-)。
- ・名前: 最大10桁の全角文字、または最大20桁の半角文字。
- ・ヨミガナ: 最大20桁の半角カタカナ文字。
- ・用途: グループ電話帳の場合は、1～7(1桁の半角数字)。
- ・システム電話帳の場合は、8(1桁の半角数字)。
- ・マイ電話帳の場合は、101～155、157～160、201～255、301～355、401～455(2桁の半角数字)。

用途欄が「0」の場合は、主装置側の電話帳に登録できません。必ず設定を行ってください。

用途欄が「1～7」の場合は短縮G「01～15」、用途欄が「8」の場合は短縮G「16～30」を設定してください。

用途欄が「101～155」の場合は短縮G「01」。

用途欄が「157～160」の場合は短縮G「01」。

用途欄が「201～255」の場合は短縮G「01」。

用途欄が「301～355」の場合は短縮G「01」。

用途欄が「401～455」の場合は短縮G「01」。

※付加情報欄の設定は、主装置側のプログラム版が4つ版より有効です。

※定型文1、定型文2の表示モードが「ユーザ定型文」のときに表示する付加情報定型文の番号(001～999)を入力します。(表示なしは000)。

※付加情報定型文の内容を確認したい場合は、付加情報定型文の画面を別シート等で開いてください。

短縮番号	電話番号	名前	ヨミガナ	用途	短縮G	外線G	付加情報	
							表示モード	定型文1 定型文2
0100				0	01	0	付加情報なし	000 000
0101				0	01	0	付加情報なし	000 000
0102				0	01	0	付加情報なし	000 000
0103				0	01	0	付加情報なし	000 000
0104				0	01	0	付加情報なし	000 000
0105				0	01	0	付加情報なし	000 000

前ページに移動するときにクリックします。

次ページに移動するときにクリックします。

本ページの先頭に戻るときにクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。クリックをしないと、変更した内容は登録されません。

引き続き、「内線電話帳」、「付加情報定型文」の設定を行う。(必要時)

画面左側の「■内線電話帳」または「■付加情報定型文」をクリックすると、ページリストが表示される。

編集するページ(PAGE)を選択し、各項目を入力(変更)する。

表示しているページの入力(変更)が完了したら、画面一番下の **登録** をクリックする。

●現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。

●内線一般着信用のページは「収容位置601～616」です。

●特番用のページは「特番700～754」と「特番761～846」です。

■各項目の入力文字数などの制限は下記のとおりです。

●内線名称: 内線相手名称を入力します。全角5文字(半角10文字)まで

●ヨミガナ: ヨミガナを入力します。半角10文字まで

●付加情報定型文: 表示させたい内容を入力します。全角10文字(半角20文字)まで

※[Tab]キーで各入力項目を移動できます。

画面は内線電話帳を表示しているとき

項目ごとに、ページが分かれています。

●編集するページをクリックすると、該当の入力画面となります。

●現在表示しているページは色を変えて表示します。

収容位置	内線番号	内線名称	ヨミガナ
201	201	高橋	タカハシ
202	202	佐藤	サトウ
203	203	田中	タナカ
204	204	田中	タナカ
205	205		
206	206		
207	207		
208	208		
209	209		
210	210		
211	211		
212	212		
213	213		

本ページの先頭に戻るときにクリックします。

前ページに移動するときをクリックします。

次ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。

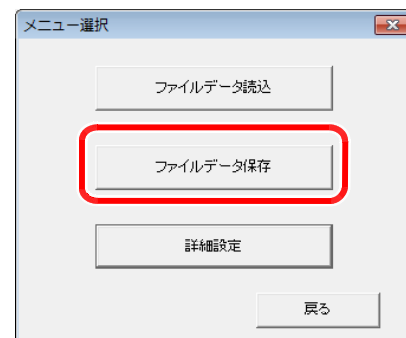
【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。クリックをしないと、変更した内容は登録されません。

すべての設定が終了したらブラウザを終了する

※ブラウザを閉じても設定内容は消えません。



7 『メニュー選択画面』で **ファイルデータ保存** をクリックする。



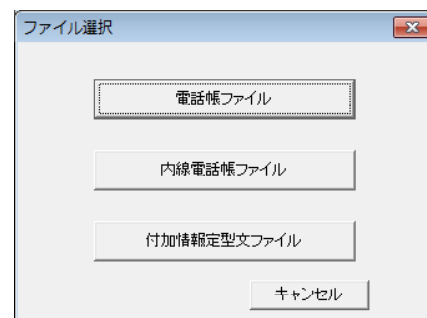
8 『ファイル選択画面』で保存するファイルの種類を選択する。

●各ボタンの説明

**電話帳ファイル** … Web画面で設定した電話帳の内容をファイルに保存します。

**内線電話帳ファイル** … Web画面で設定した内線電話帳の内容をファイルに保存します。

**付加情報定型文ファイル** … Web画面で設定した付加情報定型文の内容をファイルに保存します。



9 ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にある電話帳データがファイルに保存されます。

※ファイルの拡張子は以下になります。

電話帳 : ifd3 (～4-1版の主装置で使うとき)

ifd8 (4-2版～の主装置で使うとき)

内線電話帳 : ifd4

付加情報定型文 : ifd9

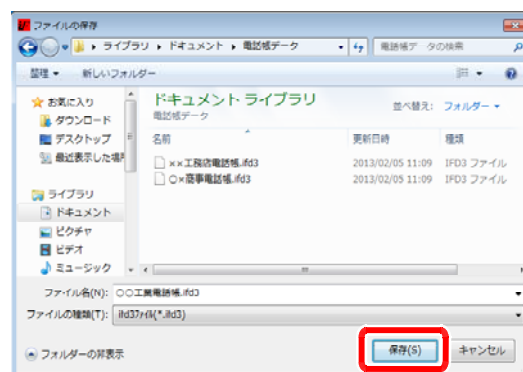
※4-2版～の主装置で使うときは、拡張子は「ifd8」を選択してください。

「ファイルの種類(T)」で、「ifd8ファイル(\*.ifd8)」を選択します。

※CSVファイルの保存も可能です。

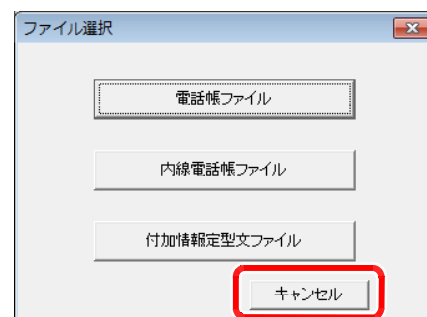
「ファイルの種類(T)」で「csvファイル(\*.csv)」を選択します。

CSVファイルに関しては、P2-9をご覧ください。



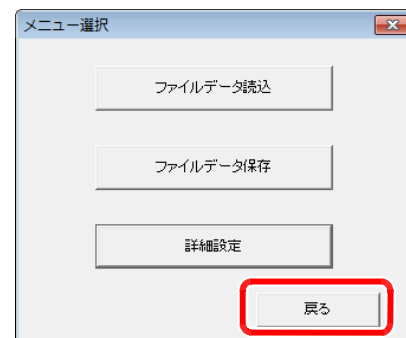
10 『ファイル選択画面』に戻る。

終了するときは **キャンセル** をクリックする。

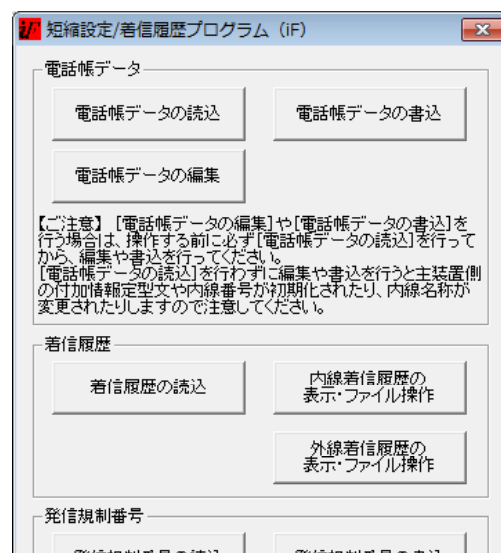




11 『メニュー選択画面』で **戻る** をクリックする。



12 『メイン画面』に戻る。



## ●Excel®を使用して電話帳データを作成、編集する

Excel® を使用して、電話帳、内線電話帳、付加情報定型文データを作成したり、編集したりする場合は、CSV形式のファイルを使用します。

### (1)Excel®で電話帳ファイルを作成する

Excel® を使用して電話帳データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。※Excel® の使用方法はExcel® の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで電話番号一覧を作成する。  
(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず0000を入力 →

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	短縮番号	電話番号	名前	ヨミガナ	用途	短縮G	外線G	表示モード	定型文1	定型文2
2	0000	031234XXXX	東京本社	トウキョウホンシャ	1	01	0	0	000	000
3	0001	061234XXXX	大阪支社	オオサカシヤ	1	01	0	0	000	000
4	0002	052123XXXX	名古屋支店	ナゴヤシテン	1	01	0	0	000	000
5	0003	090111XXXX	鈴木携帯	スズキケタイ	1	01	1	2	000	000
6	0004	090222XXXX	斉藤携帯	サイウケタイ	1	01	1	2	000	000
7	0005	090333XXXX	佐藤携帯	サトウケタイ	1	01	1	2	000	000
8	0006	045123XXXX	青×商事	アヲ○ショウシ	1	01	0	3	001	002
9	0007	045123XXXX	佐々木	ササキ	1	01	0	3	001	003

- 1行目: 「短縮番号」、「電話番号」、「名前」、「ヨミガナ」、「用途」、「短縮G」、「外線G」、「表示モード」、「定型文1」、「定型文2」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

- 短縮番号: 0000からの連番(4桁)を半角数字で入力します。

短縮番号は必要なものだけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の0000は必ず入力してください。

- 電話番号: 電話番号を入力します。半角数字または記号(\*、#、P、M、-)24文字まで。

- 名前: 相手名称をスペースを入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

- ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角20文字まで。

- 用途: グループ電話帳の場合は共通電話帳管理番号「1~7」を、システム電話帳の場合は「8」を、マイ電話帳の場合は電話機の収容位置(3桁)を半角数字で入力します。

- 短縮G: 短縮グループ番号(グループ電話帳:01~15、システム電話帳:16~30)を半角数字で入力します。

- 外線G: 0(指定なし)および外線グループ番号1~6を半角数字で入力します。

- 表示モード: 付加情報の表示内容を数字で入力します。

0(付加情報なし): 何も表示しません。

2(前着信履歴): 前回、着信したときの日時を表示します。

1(電話帳詳細): 電話帳の詳細情報を表示します。

3(ユーザ定型文): ユーザが設定した定型文を表示します。

- 定型文1, 2: 表示モードを「ユーザ定型文」にしたときに、表示される定型文の番号を入力します。000を入力すると何も表示しません。

★名前・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データなど)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超えている場合、超えている部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。

★用途欄に「1~7」、「8」、収容位置(3桁)以外の値が入力されていると、ファイルデータの読み込みの際に、用途欄を自動的に「1」(グループ電話帳)に変更します。

★マイ電話帳では短縮グループ番号と外線グループ番号は使用しません。

- ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel® の通常の形式でもファイルを保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel® に読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

- ③本プログラムの「ファイルデータ読み込」-「電話帳ファイル」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。(電話番号欄の先頭に「0」が入っていることを確認してください。)

## (2)Excel®で内線電話帳ファイルを作成する

Excel®を使用して内線電話帳データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。

※Excel®の使用方法はExcel®の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで内線番号一覧を作成する。  
(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず101を入力 →

	A	B	C	D
1	収容位置	内線番号	内線名称	ヨミガナ
2	101	101	高橋	タカハシ
3	102	102	佐藤	サトウ
4	103	103	青木	アオキ
5	104	104	田中	タナカ
6	105	105	庄司	ショウジ
7	106	106	木村	キムラ
8	107	107	伊藤	イトウ

- 1行目: 「収容位置」、「内線番号」、「内線名称」、「ヨミガナ」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。
- 収容位置: 101からの連番(3桁)を半角数字で入力します。  
収容位置は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の101は必ず入力してください。
- 内線番号: 内線番号を入力します。半角数字1~4桁(入力桁数は\*0080の設定に従ってください)。  
\*0080の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、使用できる内線番号を特約店、販売店にお問い合わせください。
- 内線名称: 内線名称をスペースを入れずに入力します。全角5文字(半角10文字)まで。
- ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角10文字まで。
- ★内線名称・ヨミガナに半角の「~」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの内線番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得することはありませんので注意してください。
- ★内線番号は必ず\*0080で設定した桁数で入力してください。設定と異なる桁数で入力したり、桁数の異なる内線番号を混在させたりしないでください。また、同じ内線番号を複数入力しないでください。

- ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel®の通常の形式でもファイルに保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel®に読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

- ③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「内線電話帳ファイル」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。

### (3)Excel®で付加情報定型文ファイルを作成する

Excel® を使用して付加情報定型文データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。

※Excel® の使用方法はExcel® の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで付加情報定型文一覧を作成する。  
(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず001を入力 →

	A	B
1	項番	付加情報定型文
2	001	月曜日は定休日
3	002	携帯電話
4	003	緊急用
5	004	お客様
6	005	
7	006	

●1行目:「項番」、「付加情報定型文」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

●項番: 001からの連番(3桁)を半角数字で入力します。

項番は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の001は必ず入力してください。

●付加情報定型文: 表示させたい内容を入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

★付加情報定型文に半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの付加情報定型文一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得することはありませんので注意してください。

★同じ項番を複数入力しないでください。

- ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel® の通常の形式でもファイルに保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel® に読み込んだ場合、各セルの先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

- ③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「付加情報定型文ファイル」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。

#### (4) 本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する

本プログラムで作成した電話帳、内線電話帳、付加情報定型文データは、CSV形式でファイルを保存できます。後からExcel®を使用してこれらのデータを編集することができます。

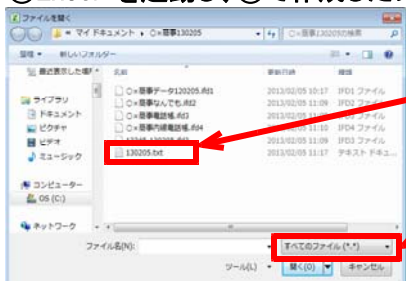
Excel®でCSVファイルを開いたり、エクスプローラでCSV形式のファイルをダブルクリックして開くと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されてしまい、編集が出来なくなります。

下記の操作で拡張子の変更を行ってください。

##### ①エクスプローラなどで、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

(例:「〇×商事電話帳.csv」を、「〇×商事電話帳.txt」に変更する。)

##### ②Excel®を起動し、①で作成したファイルを開く。(必ず、Excel®の操作でファイルを開いてください。)

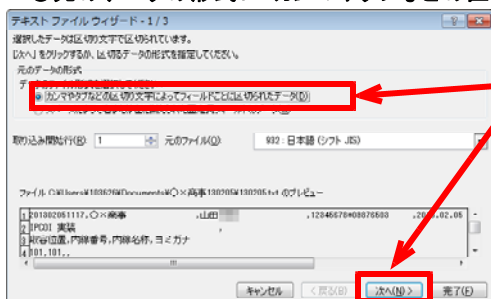


操作2: ①で作成したtxtファイルを選択し、ダブルクリックまたは「開く」を押す

操作1: すべてのファイル (\*.\*) に変更する

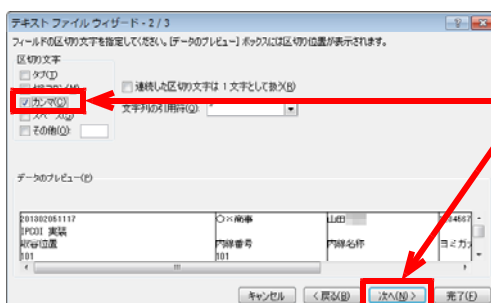
##### ③画面の指示に従って、操作する。

●元のデータの形式: 「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。



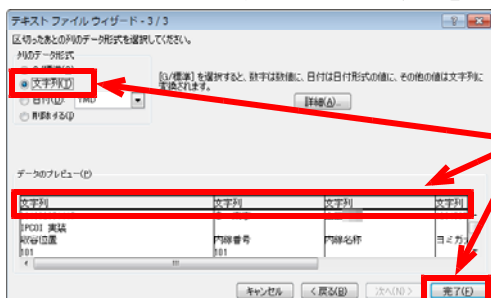
「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

●区切り文字: 「カンマ」を選択します。



「カンマ(C)」にのみチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックする

●列のデータ形式: すべてのデータ項目を「文字列」にします。



すべての列を文字列に変更し、「完了(F)」をクリックする

##### ④「完了(F)」をクリックし、ファイルが開いたら(1)～(3)のいずれかに従って編集作業を行う。

★編集を行う前に、1行目(12桁の数字が記載されている行)は必ず削除してください。(1)～(3)で示したフォーマットのみ本プログラムで読み込むことができます。

## (5) iZシリーズ、iAシリーズ、iEシリーズの電話帳データをiFシリーズの電話帳データに変換する方法

iZ、iA、iE シリーズのパソコン短縮設定用プログラム※の電話帳データと本プログラムの電話帳データはフォーマット形式が異なります。これらのシリーズからiFシリーズの主装置に交換するときは、お使いの電話帳データをiFシリーズの主装置に移す必要があります。下記の手順で電話帳データを変換して移してください。

### 電話帳データ変換手順(例:iEシリーズからiFシリーズの電話帳データへの変換)

- ①iEシリーズのパソコン短縮設定用プログラム※を使用し、iE主装置の電話帳データをパソコンに読み込む。
- ②iEシリーズのパソコン短縮設定用プログラム※で電話帳ファイルをCSV形式で保存する。  
(ファイルの種類を「CSVファイル(\*.csv)」を選択して保存)  
保存したCSV形式の電話帳ファイルは、バックアップしておくことをおすすめします。
- ③エクスプローラなどで、②で保存したCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。  
(例:「〇×商事電話帳.csv」を、「〇×商事電話帳.txt」に変更する。)
- ④③で作成した(拡張子を「txt」に変更した)ファイルをExcel<sup>®</sup> で開く。(必ず、Excel<sup>®</sup> の操作でファイルを開いてください。)  
詳しくは、「(4)本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する」をご覧ください。
- ⑤Excel<sup>®</sup> を使用し、iFシリーズ用のフォーマット形式に修正する。  
詳しくは、「(1)Excel<sup>®</sup> で電話帳ファイルを作成する」をご覧ください。
- ⑥Excel<sup>®</sup> を使用し、⑤で修正した電話帳データをCSV形式で保存する。
- ⑦本プログラムを使用し、保存したCSV形式ファイルを読み込む。

※iE用のパソコン短縮設定用プログラムは「短縮設定/内線着信履歴用プログラム」という名称です。



## 4. 電話帳データの書き込み～プログラムの終了

パソコン側の電話帳データを主装置に書き込みます。

※書き込みたいデータを選んで書き込みできます。

### ●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

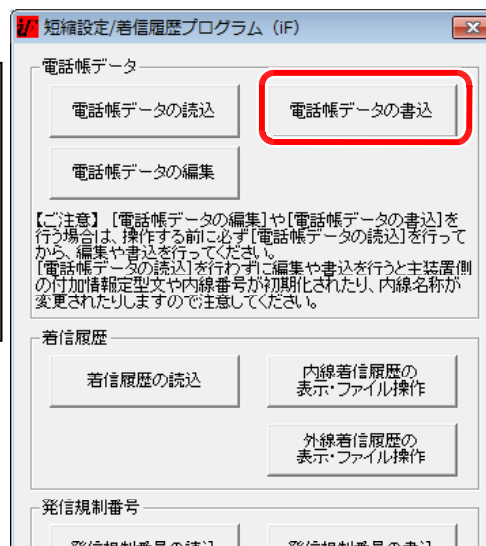
- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（\*9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（\*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

※\*9400、\*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

## 1 『メイン画面』で **電話帳データの書込** をクリックする。

★電話帳データが設定済みの主装置に、パソコン上にある電話帳データを書き込むと、主装置側のデータは上書きされます。必ず「電話帳データの読込」を先に行ってください。

- ①「電話帳データの読込」の実行 ⇒P2-2
- ②主装置から読み込んだ電話帳データを修正する。⇒P2-4  
※「ファイルデータ読込」は行わないでください。
- ③「電話帳データの書込」の実行



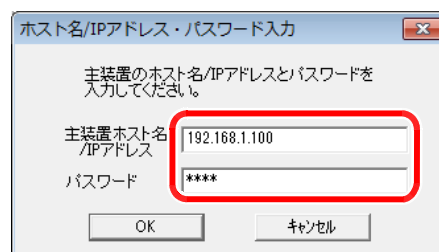
## 2 『ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面』となる。 接続されている主装置のIPアドレス、パスワードを入力して **OK** をクリックする。

IPアドレスは、「192.168.1.100」のようにドットを付けて入力してください。

パスワードはWeb設定（\*W013）で設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192.168.1.100、パスワードの初期値は0000です。

※パスワードは半角数字を使用します。

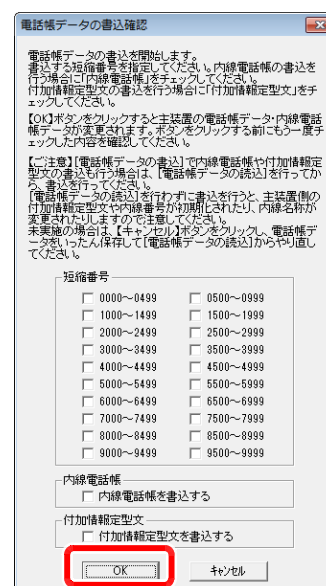


## 3 『電話帳データの書込確認画面』となるので、書き込みたい短縮番号や内線電話帳のチェックボックスにチェックを入れてから、**OK** をクリックする。

中止する場合には、**キャンセル** をクリックする。

★中断できないので注意してください。

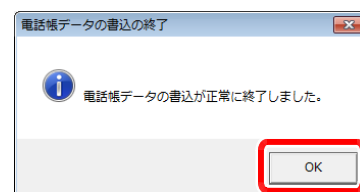
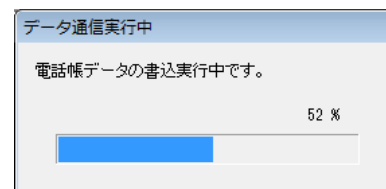
※**キャンセル** をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。



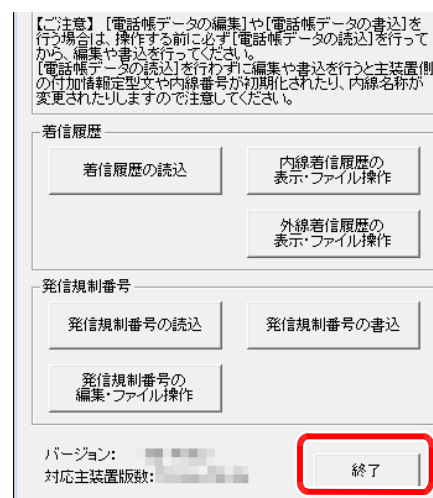
## 4 『データ通信実行中画面』が表示される。

※インジケータに進行状況が表示されます。

書き込みが完了すると『電話帳データの書込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

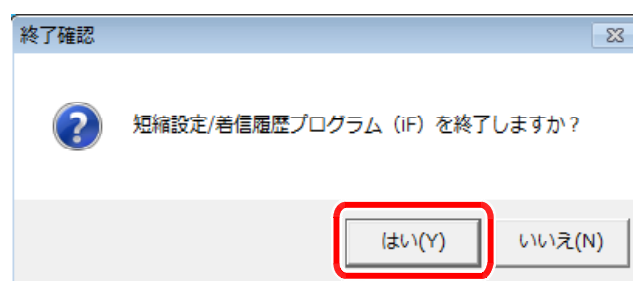


## 5 『メイン画面』に戻る。 作業を終了する場合は **終了** をクリックする。



## 6 『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。

※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



### ご注意

★データの書き込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に書き込みすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★データの書き込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、書き込みをやり直してください。また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

★電話機で電話帳を使用しているときに、本プログラムで電話帳データを書き込みすると、電話機で表示している番号とは異なる番号に発信したり、発信そのものがないことがあります。電話帳データの書き込みを行う場合は、なるべく電話機で電話帳を操作していないときに行ってください。

電話機で内線電話帳を使用しているときも同様です。内線発信後に表示される内線名称が内線電話帳検索時と異なった表示となる場合があります。



## 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

### [1] 主装置の着信履歴データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

- ① 主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ② プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③ 「着信履歴の読込」を実行 ⇒P3-2
- ④ ファイルに保存 ⇒P3-4

### [2] 保存した内線（外線）着信履歴を読み込む場合

- ① プログラムの起動 ⇒P1-6
- ② 保存した内線（外線）着信履歴の確認 ⇒P3-7

## 2. 着信履歴の読み込み

主装置側の着信履歴をパソコンで読み込みます。

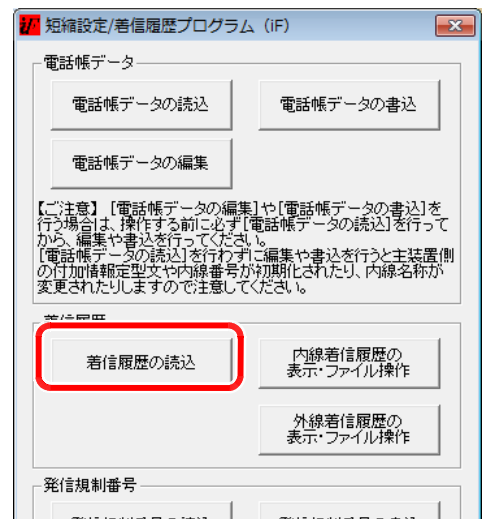
### ●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（＊9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（＊9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

※＊9400、＊9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

### 1 本プログラムを起動したら、『メイン画面』で **着信履歴の読込** をクリックする。

内線と外線の着信履歴を同時に読み込みます。



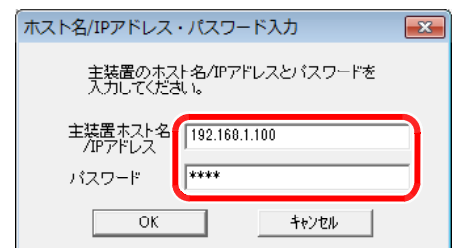
### 2 『ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面』となる。 接続されている主装置のIPアドレス、パスワードを入力して **OK** をクリックする。

IPアドレスは、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

パスワードはWeb設定（＊W013）で設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192. 168. 1. 100、パスワードの初期値は0000です。

※パスワードは半角数字を使用します。



## 3

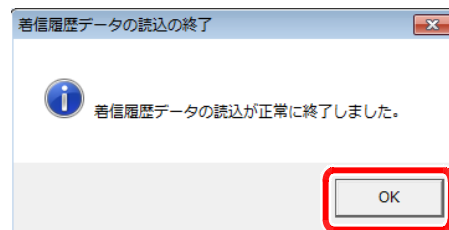
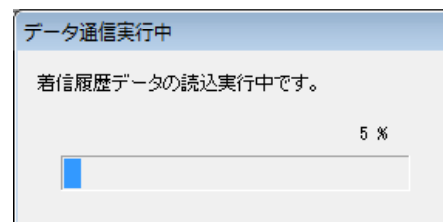
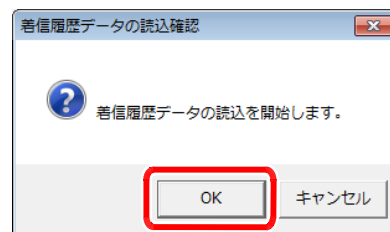
『着信履歴データの読込確認画面』となるので、**OK** をクリックする。

★中断できないので注意してください。

※ **キャンセル** をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

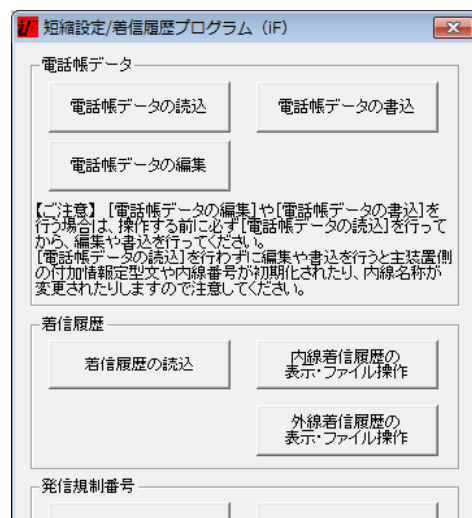
※読み込みを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに進行状況が表示されます。

読み込みが完了すると『着信履歴データの読込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。



## 4

『メイン画面』に戻る。



### ご注意

★データの読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込みしたデータを主装置に書き込むと、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★データの書き込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、読み込みをやり直してください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

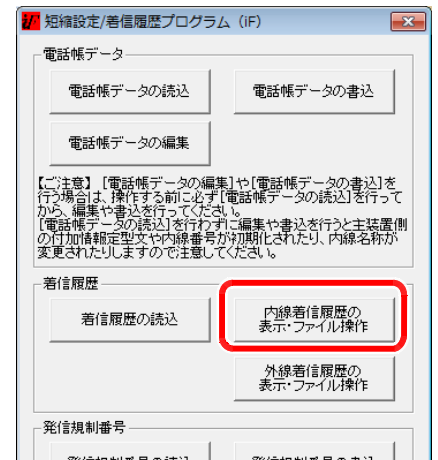
◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

### 3. 着信履歴の表示とファイル操作

パソコンで内線(外線)着信履歴の表示、ファイルへの保存を行います。  
内線着信履歴の操作を例に説明しています。  
※ファイルに保存しない場合は、手順6～7は不要です。

#### 1 『メイン画面』で **内線着信履歴の表示・ファイル操作** をクリックする。

外線着信履歴を操作するときは、**外線着信履歴の表示・ファイル操作** をクリックしてください。



#### 2 『メニュー選択画面』となる。

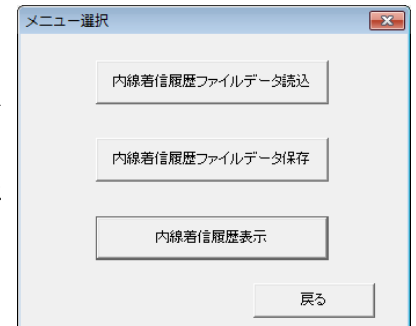
##### ●各ボタンの説明

**内線着信履歴ファイルデータ読込** … バックアップした内線着信履歴データのファイルを読み込みます。⇒P3-7

**内線着信履歴ファイルデータ保存** … 読み込んだ内線着信履歴データをファイルに保存します。

**内線着信履歴表示** … 読み込んだ内線着信履歴データを表示します。

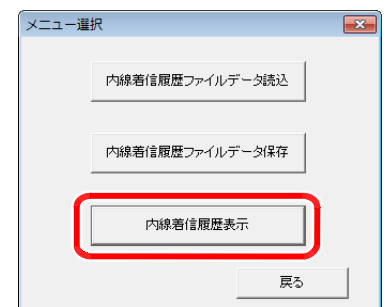
**戻る** … 『メイン画面』に戻ります。



手順1で **外線着信履歴の表示・ファイル操作** を選んだ場合には、外線着信履歴に対するメニュー画面を表示します。操作できる内容は内線着信履歴と同じです。

#### 3 『メニュー選択画面』で **内線着信履歴表示** をクリックする。

外線着信履歴を表示するときは、**外線着信履歴表示** をクリックしてください。



ブラウザが起動し、Web画面が表示されるので、表示したい内線着信履歴のページ(PAGE)を選択する。

●着信履歴は最新の内容ではありません。読み込みを行った時点の着信履歴が表示されます。

### ■各項目の表示内容は下記のとおりです。

- 項番**: 履歴の番号です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は0001)。
- 発信(着信)日付**: 発信(着信)時の日付を表示します。
- 発信(着信)時刻**: 発信(着信)時の時刻を表示します(24時間表示)。
- 呼出終了時刻**: 応答したときはその時刻を、応答しなかったときは呼出が停止した時刻を表示します(24時間表示)。
- 発信者内線(電話)番号**: 発信者の内線(電話)番号を表示します。
- 発信者名称**: 発信者の内線(電話帳)名称またはヨミガナを表示します。  
※内線(電話帳(\*2))名称およびヨミガナが設定されていない場合は表示されません。
- 発信者種別(\*1)**: 発信者の端末種別を表示します。  
※内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(インターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」となります。
- 呼出先名称/内線番号(\*1)**: 呼出先の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の内線番号に登録した内線名称なども表示可能です。
- 応答種別**: 着信に対して応答した場合は「応答」、応答しなかった場合は「不応答」、外線に転送した場合は「外線転送」を表示します。
- 折り返し発信者名称/内線番号**: 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。
- 応答者名称/内線番号**: 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の場合も最後に通話していた電話機の内線名称などを表示します。
- 応答者種別(\*1)**: 応答した端末種別を表示します。  
※内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(インターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」となります。
- 終話時刻**: 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- 通話時間**: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- 電話機グループ番号**: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号(2桁)を表示します。  
※内線着信に回答しなかったときは、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※内線一般着信に回答しなかったときは、内線一般着信の呼出番号に対応する電話機グループ番号を表示します。  
※DI/DIDなどの個別呼び出しに回答しなかったときは、最後に着信していた電話機の電話機グループ番号を表示します(\*2)。  
※そのほかの着信に回答しなかった、またはシステムが応答したときは、外線/DILINIに対応する電話機グループ番号を表示します(\*2)。
- 理由コード(\*1)**: 通話時にダイヤルした理由コード2桁(00~99)を表示します。  
※未入力時は表示しません。

\*1: 内線着信履歴のみ

\*2: 外線着信履歴時

内線着信履歴50件ごとに、ページが分かれています。

- 確認したいPAGEをクリックすると、該当する内線着信履歴の画面となります。
- 現在表示しているページは色を変えて表示します。

※注意※  
・表示時点のデータです。履歴の消去や追加等によって履歴の項番は移動します。  
・表示できる項目には、電話帳側の内線着信履歴に表示できない項目も含まれています。

項番	発信日付	発信時刻	呼出終了時刻	発信者内線番号	発信者名称	発信者種別	呼出先名称/内線番号	応答種別	折り返し発信者名称/内線番号	応答者名称/内線番号	応答者種別	終話時刻	通話時間	電話機グループ番号	理由コード
0001	2013/2/5	10:04:22	10:04:47	101	田中	一般内線	佐藤	応答		佐藤	一般内線	10:04:27	0:00:25	01	
0002	2013/2/5	10:00:44	10:00:56	102	佐藤	一般内線	田中	不応答	田中					01	
0003	2013/2/5	8:54:02	8:54:34	101	田中	一般内線	佐藤	応答		佐藤	一般内線	8:54:05	0:00:32	01	
0004															
0005															
0006															
0007															
0008															
0009															
0010															
0011															
0012															
0013															
0014															

本ページの先頭に戻るときにクリックします。

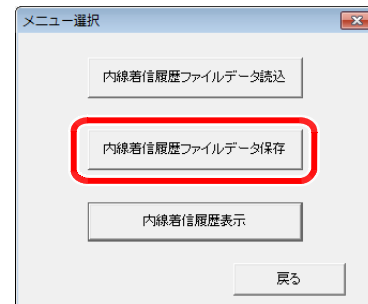
次ページに移動するときにクリックします。

▲ ページTOP

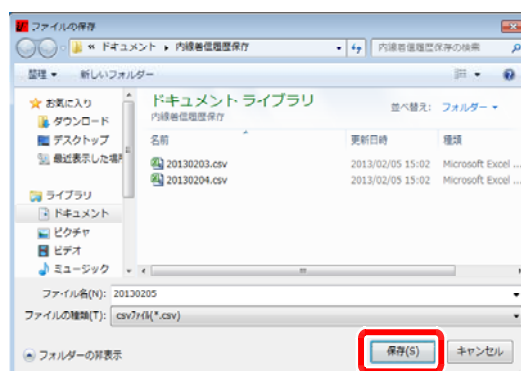
>> PAGE2(内線着信履歴0051~0100)

5 表示を終了する場合には、ブラウザを終了する。  
※ブラウザを閉じて読み込んだ内容は消えません。

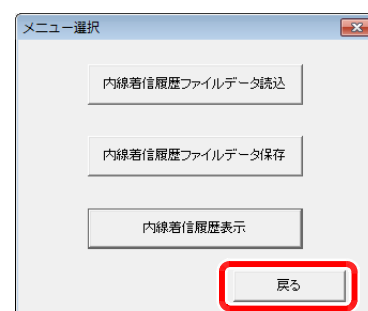
6 『メニュー選択画面』で **内線着信履歴ファイルデータ保存** をクリックする。  
外線着信履歴を保存するときは、**外線着信履歴ファイルデータ保存** をクリックしてください。



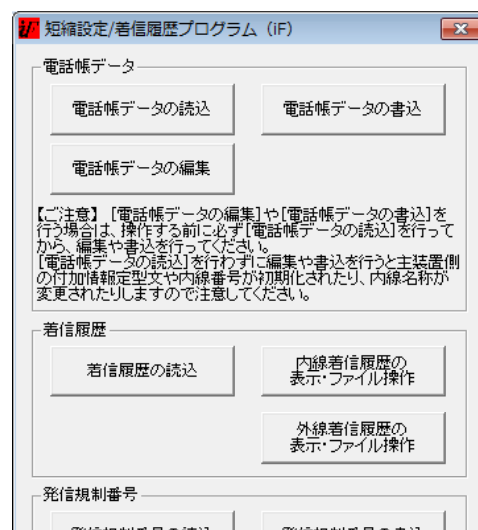
7 ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。  
読み込み(アップロード)した内線着信履歴がファイルに保存されます。  
※CSVファイルで保存されます。



8 『メニュー選択画面』で **戻る** をクリックする。



9 『メイン画面』に戻る。

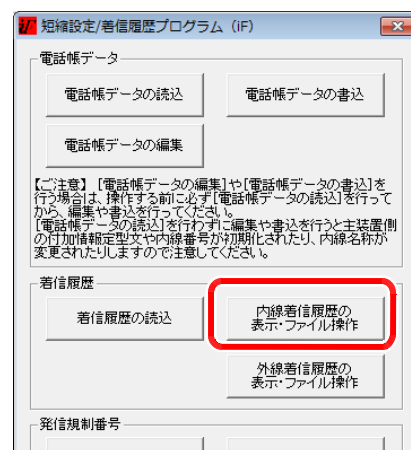


## 4. 保存した着信履歴の確認～プログラムの終了

保存した内線(外線)着信履歴を確認する。内線着信履歴の操作を例に説明しています。

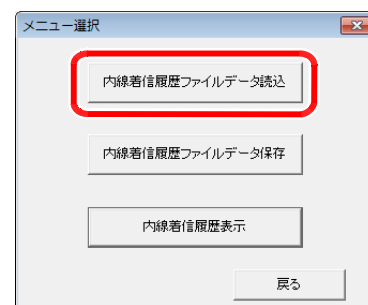
### 1 『メイン画面』で **内線着信履歴の表示・ファイル操作** をクリックする。

外線着信履歴を操作するときは、**外線着信履歴の表示・ファイル操作** をクリックしてください。



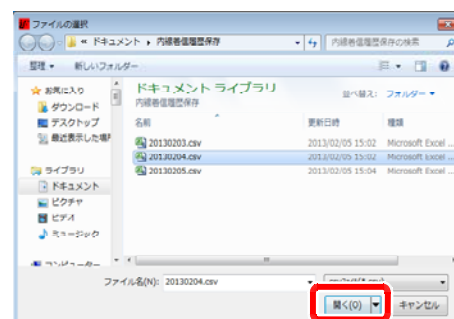
### 2 『メニュー選択画面』で **内線着信履歴ファイルデータ読込** をクリックする。

外線着信履歴を読み込むときは、**外線着信履歴ファイルデータ読込** をクリックしてください。



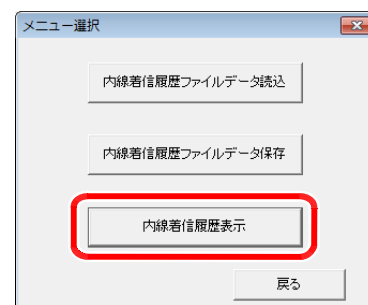
### 3 ファイル名を選択して **開く(O)** をクリックする。

保存されているファイルをプログラムに読み込みます。



### 4 『メニュー選択画面』で **内線着信履歴表示** をクリックする。

外線着信履歴を表示するときは、**外線着信履歴表示** をクリックしてください。

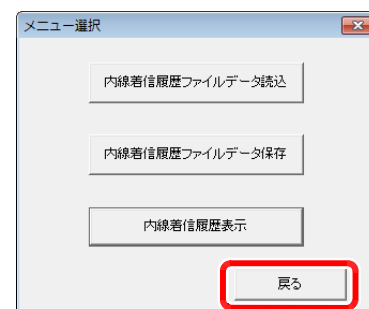


### 5 ブラウザが起動し、Web画面が表示されるので、表示したい内線着信履歴のページ(PAGE)を選択し内容を確認する。

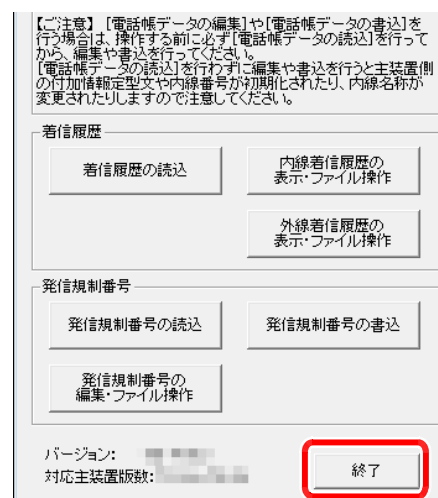
各項目の表示内容については、P3-5の手順4の説明をご覧ください。

6 表示を終了する場合には、ブラウザを終了する。  
※ブラウザを閉じても読み込んだ内容は消えません。

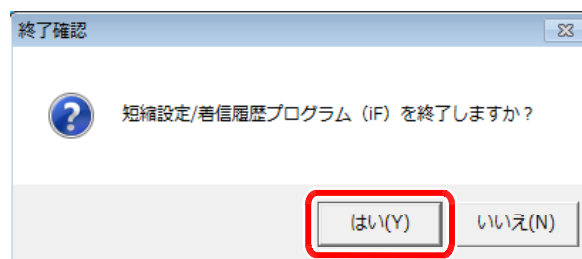
7 『メニュー選択画面』で **戻る** をクリックする。



8 『メイン画面』に戻る。  
作業を終了する場合は **終了** をクリックする。



9 『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。  
※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。





## ●Excel®を使用して着信履歴を確認する

内線(外線)着信履歴データはCSV形式で保存されますので、Excel®を使用して確認することができます。

### (1)内線着信履歴

①確認したいファイルを開きます。



20110704.csv

②下記のフォーマットで表示します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	201107050935															
2	項番	発信日付	発信時刻	呼出終了時刻	発信者内線番号	発信者名称	発信者種別	呼出先名称	応答種別	折り返し発信	応答者名称	応答者種別	終話時刻	通話時間	電話機グループ番号	理由コード
3	1	2011/7/1	16:22:58	16:23:07	101	田中	2	佐藤	1		佐藤	2	16:24:13	0:01:06	1	
4	2	2011/7/1	16:22:38	16:22:49	102	佐藤	2	田中	0	田中					1	
5	3	2011/7/1	16:21:49	16:21:52	101	田中	2	佐藤	1		佐藤	2	16:22:33	0:00:41	1	
6	4															
7	5															
8	6															
9	7															
10	8															
11	9															
12	10															
13	11															
14	12															
15	13															
16	14															
17	15															
18	16															
19	17															

1行目のA列には、ファイルを保存した日時を表示します。

2行目の各列(A~P)の表示内容は下記のとおりです。

- A 項番: 履歴の番号です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は1)。
- B 発信日付: 発信時の日付を表示します。
- C 発信時刻: 発信時の時刻を表示します(24時間表示)。
- D 呼出終了時刻: 応答したときはその時刻を、応答しなかったときは呼出が停止した時刻を表示します(24時間表示)。
- E 発信者内線番号: 発信者の内線番号を表示します。
- F 発信者名称: 発信者の内線名称またはヨミガナを表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は表示されません。
- G 発信者種別: 発信者の端末種別を表示します。  
※内線電話機の場合「2」、インターホンの場合「0」、IPカメラドアホン(インターホンとして利用時)の場合「1」となります。Excel® 上では、数字で表示します。
- H 呼出先名称/内線番号: 呼出先の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の内線番号に登録した内線名称なども表示可能です。
- I 応答種別: 着信に対して応答した場合は「1」、応答しなかった場合は「0」、外線に転送した場合は「2」を表示します。Excel® 上では、数字で表示します。
- J 折り返し発信者名称/内線番号: 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。
- K 応答者名称/内線番号: 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の場合も最後に通話していた電話機の内線名称などを表示します。
- L 応答者種別: 応答した端末種別を表示します。  
※内線電話機の場合「2」、インターホンの場合「0」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「1」となります。Excel® 上では、数字で表示します。
- M 終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- N 通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- O 電話機グループ番号: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※内線着信に回答しなかったときは、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※内線一般着信に回答しなかったときは、内線一般着信の呼出番号に対応する電話機グループ番号を表示します。  
※外線転送着信に回答しなかったときは、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。
- P 理由コード: 通話時にダイヤルした理由コードを表示します。  
※未入力時は表示しません。

## (2) 外線着信履歴

① 確認したいファイルを開きます。



20110704.csv

② 下記のフォーマットで表示します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	201107041508												
2	項番	着信日付	着信時刻	呼出終了時刻	発信者電話番号	発信者名称	応答種別	折り返し発信	応答者名称	終話時刻	通話時間	電話機グループ番号	
3	1	2011/7/4	11:04:11	11:04:15	031234	東京本社	1		佐藤	11:06:51	2:46	1	
4	2	2011/7/4	10:47:34	10:47:59	045123	青木〇事	0	田中				1	
5	3	2011/7/4	10:26:06	10:26:12	0901111	鈴木携帯	1		佐藤	10:31:35	5:23	1	
6	4												
7	5												
8	6												
9	7												
10	8												
11	9												
12	10												
13	11												
14	12												
15	13												
16	14												
17	15												
18	16												
19	17												

1行目のA列には、ファイルを保存した日時を表示します。

2行目の各列(A～L)の表示内容は下記のとおりです。

- A 項番: 履歴の番号です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は1)。
- B 着信日付: 着信時の日付を表示します。
- C 着信時刻: 着信時の時刻を表示します(24時間表示)。
- D 呼出終了時刻: 応答したときはその時刻を、応答しなかったときは呼出が停止した時刻を表示します(24時間表示)。
- E 発信者電話番号: 発信者の電話番号を表示します。
- F 発信者名称: 発信者の電話帳名称またはヨミガナを表示します。  
※電話帳名称およびヨミガナが設定されていない場合は表示されません。
- G 応答種別: 着信に対して応答した場合は「1」、応答しなかった場合は「0」を表示します。Excel®上では、数字で表示します。
- H 折り返し発信者名称/内線番号: 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。
- I 応答者名称/内線番号: 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。
- J 終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- K 通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- L 電話機グループ番号: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※DI/DIDなどの個別呼び出し時に応答しなかったときは、最後に着信していた電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※そのほかの着信に応答しなかった、またはシステムが応答したときは、外線/DILINIに対応する電話機グループ番号を表示します。

## 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

### [1] 事前に発信規制番号データを作成する場合

- ①プログラムの起動 ⇒P1-6
- ②PCでの設定、ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル

### [2] 新規に発信規制番号データを設定する場合 (事前作成ファイルなし)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③PCでの設定、ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル
- ④「発信規制番号の書込」を実行 ⇒P4-9

### [3] 新規に発信規制番号データを設定する場合 (事前作成ファイルあり)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③ファイルの読み込み ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル
- ④「発信規制番号の書込」を実行 ⇒P4-9

※読み込んだ内容を変更するときは、③の後で実施し、ファイルに保存してください。

### [4] 主装置の発信規制番号データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③「発信規制番号の読込」を実行 ⇒P4-2
- ④ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル

### [5] 主装置の発信規制番号データを変更する場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-6
- ③「発信規制番号の読込」を実行 ⇒P4-2
  - ★必ず実行してください。
- ④PCでの変更\*1、ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル
- ⑤「発信規制番号データの書込」を実行 ⇒P4-9

\*1: 主装置から読み込んだ発信規制番号データを変更します。

## 2. 発信規制番号データの読み込み

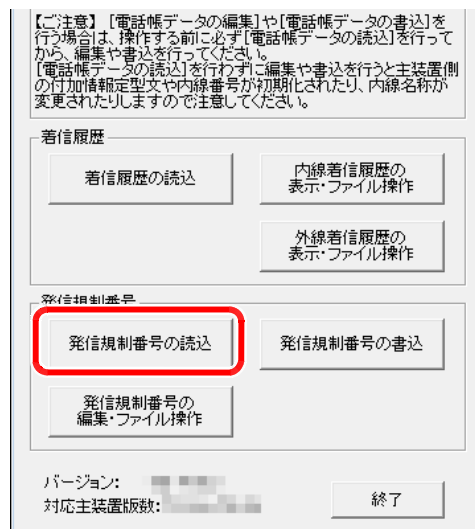
主装置側の発信規制番号データをパソコンに読み込みます。

### ●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（＊9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（＊9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

※＊9400、＊9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

### 1 『メイン画面』で **発信規制番号の読込** をクリックする。



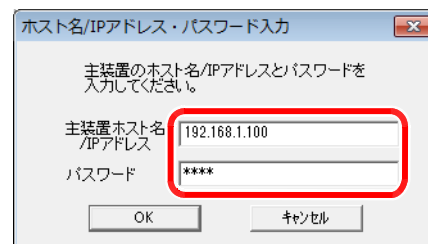
### 2 『ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面』となる。 接続されている主装置のIPアドレス、パスワードを入力して **OK** を クリックする。

IPアドレスは、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

パスワードはWeb設定（＊W013）で設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192. 168. 1. 100、パスワードの初期値は0000です。

※パスワードは半角数字を使用します。



## 3

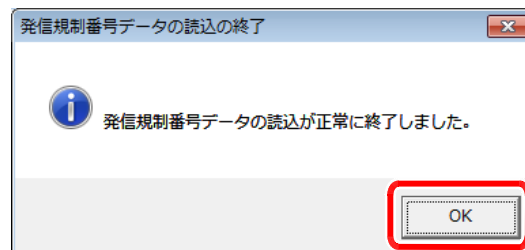
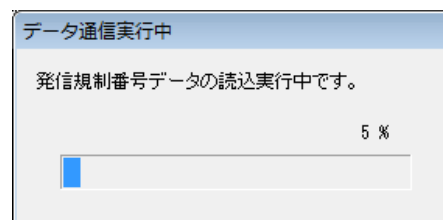
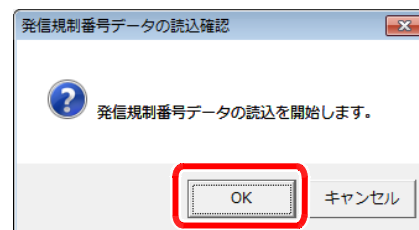
『発信規制番号データの読込確認画面』となるので、**OK** をクリックする。

★中断できないので注意してください。

※ **キャンセル** をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

※読み込みを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに進行状況が表示されます。

読み込みが完了すると『発信規制番号データの読込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。



## 4

『メイン画面』に戻る。

【ご注意】「電話帳データの編集」や「電話帳データの書込」を行う場合は、操作する前に必ず「電話帳データの読込」を行ってから、編集や書込を行ってください。  
「電話帳データの読込」を行わずに編集や書込を行うと主装置側の付加情報定型文や内線番号が初期化されたり、内線名称が変更されたりしますので注意してください。

## 着信履歴

着信履歴の読込

内線着信履歴の表示・ファイル操作

外線着信履歴の表示・ファイル操作

## 発信規制番号

発信規制番号の読込

発信規制番号の書込

発信規制番号の編集・ファイル操作

バージョン:

対応主装置版数:

終了

### ご注意

★データの読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込みしたデータを主装置に書き込むと、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★データの読み込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、読み込みをやり直してください。また、電話機側で発信規制番号の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

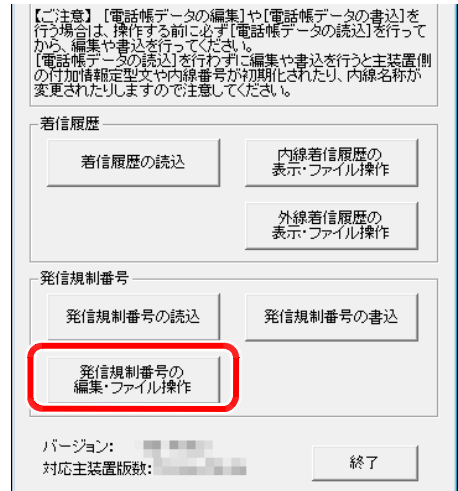
エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

### 3. 発信規制番号データの編集

パソコンで発信規制番号データを編集したり、ファイルに保存したりします。

#### 1 『メイン画面』で **発信規制番号の編集・ファイル操作** をクリックする。



#### 2 『メニュー選択画面』となる。

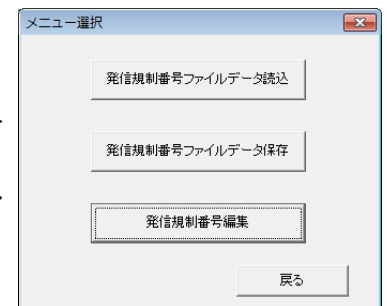
##### ●各ボタンの説明

**発信規制番号ファイルデータ読込** … 事前設定またはバックアップしたファイルを読み込みます。

**発信規制番号ファイルデータ保存** … パソコン上にある発信規制番号データをファイルに保存します。⇒P4-6

**発信規制番号編集** … パソコン上で発信規制番号データの作成や変更を行います。

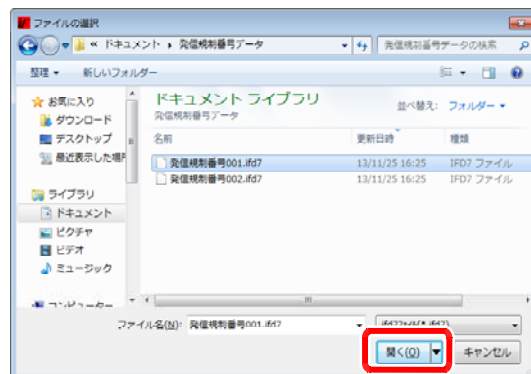
**戻る** … 『メイン画面』に戻ります。



##### ●作成済みの発信規制番号データファイルを修正するときは、下記の手順で「発信規制番号ファイルデータ読込」を行ってください。

★主装置から読み込んだ発信規制番号データを変更する場合は、この手順は実行しないでください。

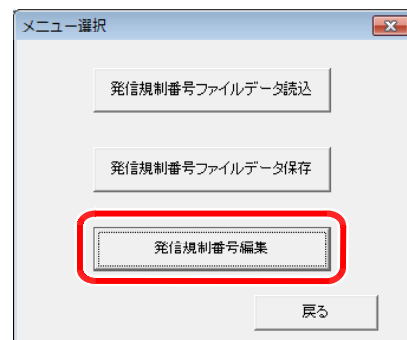
- ①『メニュー選択画面』で **発信規制番号ファイルデータ読込** をクリックする。
- ②読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックする。



- ③『メニュー選択画面』に戻る。

※CSVファイルの読み込みも可能です。プルダウンメニューで「csvファイル(\*.csv)」を選び、ファイルを選択してください。  
CSVファイルに関しては、P4-7をご覧ください。

『メニュー選択画面』で **発信規制番号編集** をクリックする。



4

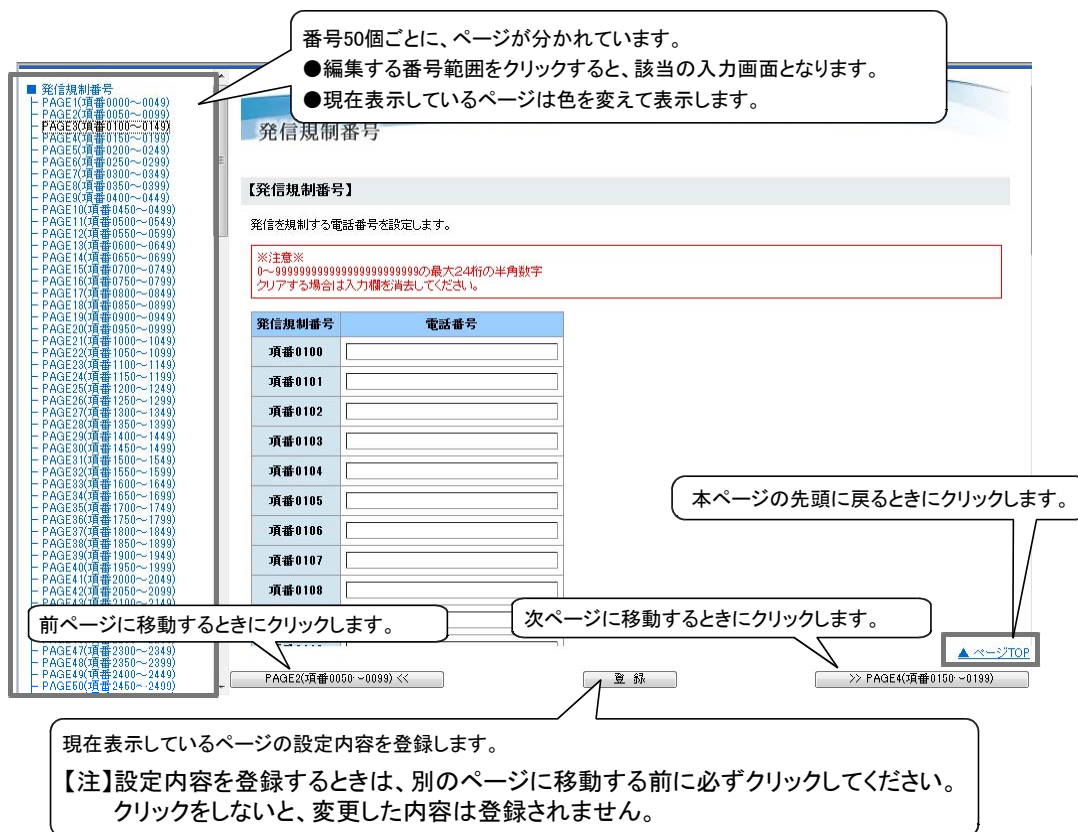
ブラウザが起動し、設定用のWeb画面が表示されるので、「発信規制番号」の設定を行う。  
画面左側のフレームで編集する発信規制番号のページ(PAGE)を選択し、各項目を入力(変更)する。  
表示しているページの入力(変更)が終わったら、画面一番下の「登録」をクリックする。

- 現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 下記のサンプル画面は説明用です。実際の表示内容とは異なる場合があります。

■各項目には次の内容を入力してください。

- 電話番号: 電話番号を入力します。半角数字24文字まで  
★複数の発信規制番号に同じ電話番号が入力されている場合、**登録** をクリックしても一つだけしか登録されません。

※[Tab]キーで各入力項目の移動が可能です。



5

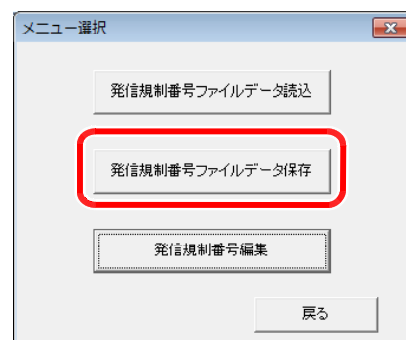
すべての設定が終了したらブラウザを終了する。

※ブラウザを閉じてても設定内容は消えません。



6

『メニュー選択画面』で **発信規制番号ファイルデータ保存** をクリックする。



7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にある発信規制番号データがファイルに保存されます。

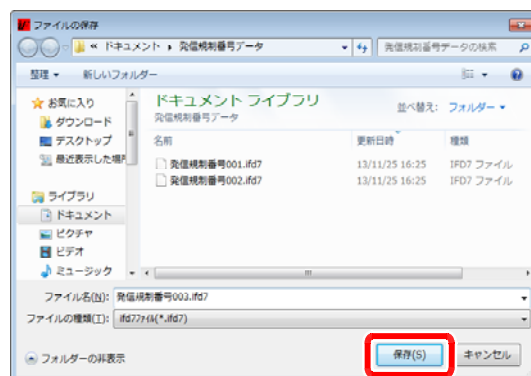
※ファイルの拡張子は以下になります。

発信規制番号 : ifd7

※CSVファイルの保存も可能です。

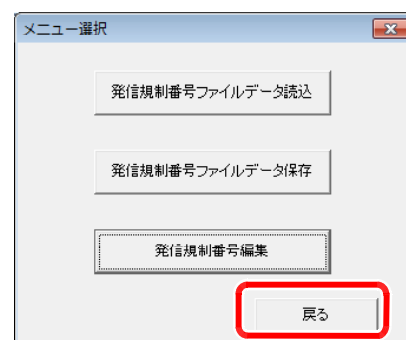
プルダウンメニューで「csvファイル(\*.csv)」を選択します。

CSVファイルに関しては、P4-7をご覧ください。



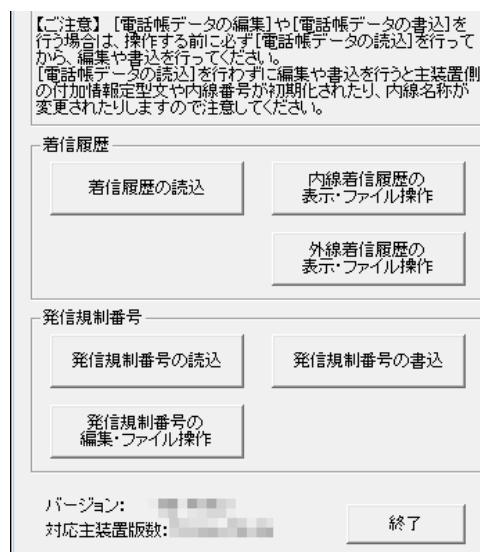
8

『メニュー選択画面』で **戻る** をクリックする。



9

『メイン画面』に戻る。





## ●Excel®を使用して発信規制番号データを作成、編集する

Excel®を使用して、発信規制番号データを作成したり、編集したりする場合は、CSV形式のファイルを使用します。

### (1)Excel®で発信規制番号ファイルを作成する

Excel®を使用して発信規制番号データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。※Excel®の使用方法はExcel®の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで発信規制番号一覧を作成する。  
(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず0000を入力 →

	A	B	C	D
1	項番	電話番号		
2	0000	031234XXXX		
3	0001	061234XXXX		
4	0002	052123XXXX		
5	0003	090111XXXX		
6	0004	090222XXXX		
7	0005	090333XXXX		
8	0006	090444XXXX		
9	0007	090555XXXX		
10	0008	090666XXXX		

●1行目:「項番」、「電話番号」という文字列を、上記の順番どおりに入力します。

●項番: 0000から始まる連番(4桁)を半角数字で入力します。

必要な項番だけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の0000は必ず入力してください。

●電話番号: 電話番号を入力します。半角数字24文字まで。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(名前など)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの発信規制番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。

### ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel®の通常の形式でもファイルを保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel®に読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

### ③本プログラムの「発信規制番号ファイルデータ読込」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。(電話番号欄の先頭に「0」が入っていることを確認してください。)

## (2) 本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する

本プログラムで作成した発信規制番号データは、CSV形式でファイルを保存できます。後からExcel<sup>®</sup> を使用してこれらのデータを編集することができます。

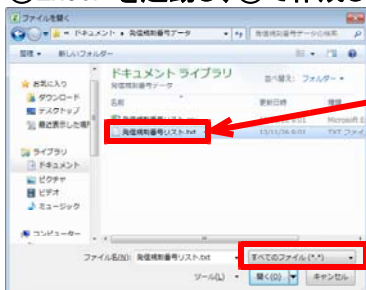
Excel<sup>®</sup> でCSVファイルを開いたり、エクスプローラでCSV形式のファイルをダブルクリックして開くと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されてしまい、編集が出来なくなります。

下記の操作で拡張子の変更を行ってください。

### ① エクスプローラなどで、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

(例:「発信規制番号リスト.csv」を、「発信規制番号リスト.txt」に変更する。)

### ② Excel<sup>®</sup> を起動し、①で作成したファイルを開く。(必ず、Excel<sup>®</sup> の操作でファイルを開いてください。)

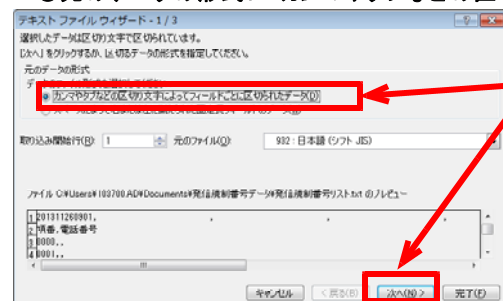


操作2: ①で作成したtxtファイルを選択し、ダブルクリックまたは「開く」を押す

操作1: すべてのファイル (\*.\*) に変更する

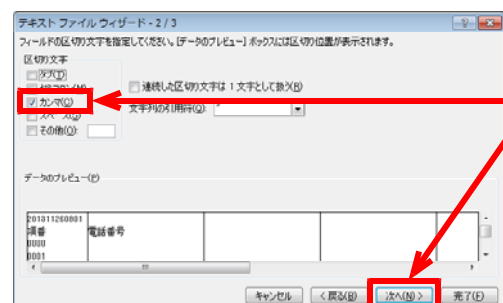
### ③ 画面の指示に従って、操作する。

●元のデータの形式: 「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。



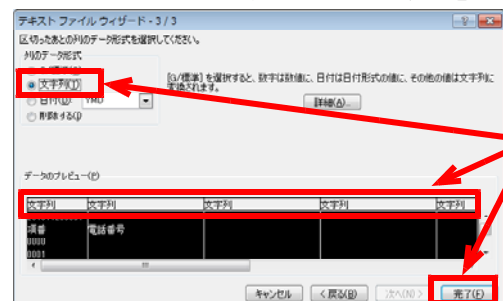
「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

●区切り文字: 「カンマ」を選択します。



「カンマ(C)」にのみチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックする

●列のデータ形式: すべてのデータ項目を「文字列」にします。



すべての列を文字列に変更し、「完了(F)」をクリックする

### ④ [完了(F)] をクリックし、ファイルが開いたら(1)に従って編集作業を行う。

★編集を行う前に、1行目(12桁の数字が記載されている行)は必ず削除してください。(1)で示したフォーマットのみ本プログラムで読み込むことができます。

## 4. 発信規制番号データの書き込み～プログラムの終了

パソコン側の発信規制番号データを主装置に書き込みます。

●**事前確認**（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（\*9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（\*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

※ \*9400、\*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

1 『メイン画面』で **発信規制番号の書込** をクリックする。

★発信規制番号データが設定済みの主装置に、パソコン上にある発信規制番号データを書き込むと、主装置側のデータは上書きされます。必ず「発信規制番号の読込」を先に行ってください。

- ①「発信規制番号の読込」⇒P4-2
- ②主装置から読み込んだ発信規制番号データを修正する。⇒P4-4  
※「発信規制番号ファイルデータ読込」は行わないでください。
- ③「発信規制番号の書込」の実行

【ご注意】「電話帳データの編集」や「電話帳データの書込」を行う場合は、操作する前に必ず「電話帳データの読込」を行ってから、編集や書込を行ってください。  
「電話帳データの読込」を行わずに編集や書込を行うと主装置側の付加情報定義文や内線番号が初期化されたり、内線名称が変更されたりしますので注意してください。

The screenshot shows the main menu of the software. It has several buttons: '着信履歴' (Incoming Call Log), '発信規制番号' (Outgoing Regulation Number), and 'バージョン' (Version). Under '着信履歴', there are buttons for '着信履歴の読込' (Read Incoming Call Log), '内線着信履歴の表示・ファイル操作' (Display/Manipulate Incoming Call Log), and '外線着信履歴の表示・ファイル操作' (Display/Manipulate Outgoing Call Log). Under '発信規制番号', there are buttons for '発信規制番号の読込' (Read Outgoing Regulation Number), '発信規制番号の編集・ファイル操作' (Edit/Manipulate Outgoing Regulation Number), and '発信規制番号の書込' (Write Outgoing Regulation Number). The '発信規制番号の書込' button is highlighted with a red rectangle. At the bottom, there is a '終了' (End) button.

2 『ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面』となる。  
接続されている主装置のIPアドレス、パスワードを入力して **OK** をクリックする。

IPアドレスは、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。  
パスワードはWeb設定（\*W013）で設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192. 168. 1. 100、パスワードの初期値は0000です。  
※パスワードは半角数字を使用します。

The screenshot shows a dialog box titled 'ホスト名/IPアドレス・パスワード入力' (Host Name/IP Address/Password Input). It contains a message: '主装置のホスト名/IPアドレスとパスワードを入力してください。' (Please enter the host name/IP address and password of the main device). Below the message, there are two input fields: '主装置ホスト名/IPアドレス' (Main Device Host Name/IP Address) and 'パスワード' (Password). The '主装置ホスト名/IPアドレス' field contains '192.168.1.100' and the 'パスワード' field contains '\*\*\*\*'. Both fields are highlighted with a red rectangle. At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

3 『発信規制番号データの書込確認画面』となるので、**OK** をクリックする。

中止する場合には、**キャンセル** をクリックする。

★中断できないので注意してください。

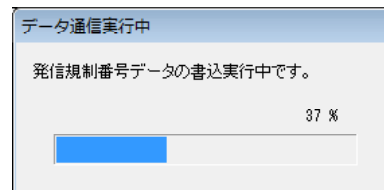
※ **キャンセル** をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

The screenshot shows a dialog box titled '発信規制番号データの書込確認' (Outgoing Regulation Number Data Write Confirmation). It contains a question mark icon and the message: '発信規制番号データの書込を開始します。' (Start writing outgoing regulation number data). At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The 'OK' button is highlighted with a red rectangle.

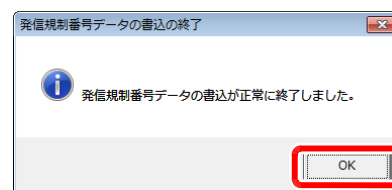
4

『データ通信実行中画面』が表示される。

※インジケータに進行状況が表示されます。



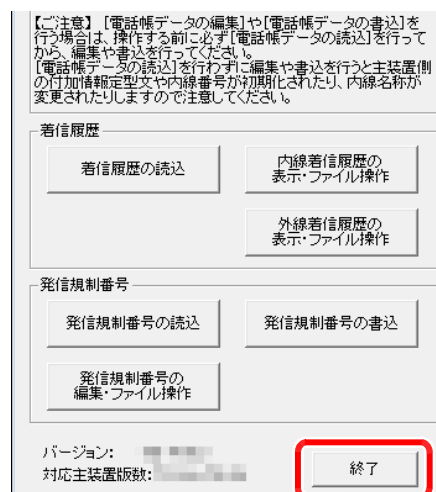
書き込みが完了すると『発信規制番号データの書込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。



5

『メイン画面』に戻る。

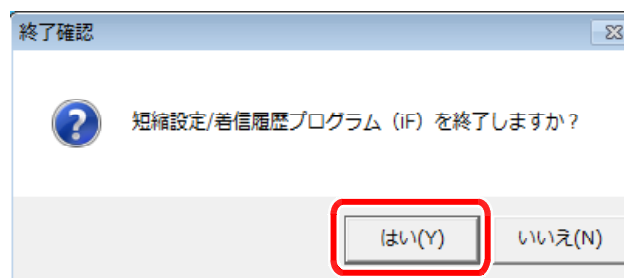
作業を終了する場合は **終了** をクリックする。



6

『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。

※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



### ご注意

★データの書き込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に書き込みすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★データの書き込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、書き込みをやり直してください。また、電話機側で発信規制番号の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

★発信規制番号データの書き込みを行う場合は、なるべく電話機で発信の操作をしていないときに行ってください。